

J P C

J A P A N P O W E R C I T I E S

日本の 都市特性評価

Japan Power Cities
Profiling Urban Attractiveness

2021



森記念財団

MORI MEMORIAL FOUNDATION

目次

はじめに	02
「日本の都市特性評価 2021」とは	03
対象都市	05
評価体系	07
138 都市 結果・分析	09
東京23区 結果・分析	22
特集研究	25
指標の定義	29

はじめに

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックは、100年ぶりの感染症の猛威を人々にみせつけ、20世紀に確立した都市活動と人々のライフスタイルにあらためて疑問符を投げかけました。これによって、大都市化が進む21世紀の都市のあり方を人々に考えさせる契機となりつつあります。

「日本の都市特性評価 (Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness / JPC)」の作成は、日本全体の活力を生み出すためには、全国の都市の総合力を上げることが不可欠であるとの視点に立って、2018年より行われています。総合力を上げるためには、都市のもつ強みや魅力といった個性や特性と、さらには弱点が何なのかを明らかにしなければなりません。こうした分析結果は、各都市の政策立案のベンチマークとして活用することができるだけでなく、ビジネスや居住選択のためのデータとしても用いることができます。

日本では第3次産業の急速な進展によって大都市での肥大が進む一方で、地方都市での人口減少や産業の衰退が懸念されています。大都市がどうあるべきか、そして地方都市の活力をいかに取り戻すかが課題となっています。これらの課題の解決のためには、大都市と地方の都市特性を客観的に評価し、強み弱みを明らかにする必要があります。

今年は、対象都市の選定基準を、人口が17万人以上のすべての都市に変更することで新たに29都市が追加されました。またこれに加えて、いくつかの指標については、これまで以上に意味のある内容となることを目指して定義の変更を行い、さらに都市を取り巻く環境の変化をより反映させるために、新たな指標を6つ追加しました。

JPC-2021で用いているデータは主に2021年1月～3月に収集しています。新型コロナウイルス感染症の影響についてできるだけ反映させることに努めました。しかしながら定量データのうち「平成27年国勢調査結果」「平成26年経済センサス」などの統計資料を用いているものについては反映されていません。そのため、コロナ禍にあって人々はどのような行動をし、何が起きたかについては、別にアンケート調査を行い、「新型コロナウイルス感染症流行前後の就業・就学状況について」の実態を把握することに努めました。

新型コロナウイルス感染症によって都市が受けた影響の把握と、アフターコロナで都市はどうなるのかについて、JPCで今後も継続して評価を行います。JPCが、日本全体が活力を持続けるための政策立案に役立てられることをますます期待しています。

日本の都市特性評価 運営委員会 委員長
市川 宏雄
2021年8月



「日本の都市特性評価 2021」とは

About JPC-2021

背景・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、**日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め**、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。

そのためには、各都市が現在の都市の力を客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行に移していくことが求められる。そこで、「日本の都市特性評価」では、日本の各都道府県における主要都市を対象として、都市の力を定量・定性データをもとに**相対的かつ多角的に分析し、都市の強みや魅力といった都市特性を明らかにすることを目的**として調査研究を行った。

策定体制

運営委員会

Steering Committee

評価体系の構築、データ収集、評価・分析

【委員長】



市川 宏雄

Hiroo Ichikawa

明治大学名誉教授

【メンバー】

森記念財団 都市戦略研究所

有識者委員会

Expert Committee

専門的な見地からの意見および助言

【委員（五十音順）】



浅見 泰司

Yasushi Asami

東京大学大学院
工学系研究科
教授



市川 一宏

Kazuhiro Ichikawa

ルーテル学院大学
学術顧問・教授



岸井 隆幸

Takayuki Kishii

日本大学理工学部
土木工学科
特任教授



中井 検裕

Norihiro Nakai

東京工業大学
環境・社会理工学院長
教授



中川 雅之

Masayuki Nakagawa

日本大学
経済学部
教授



花木 啓祐

Keisuke Hanaki

東洋大学
情報連携学部教授、
東京大学名誉教授



吉見 俊哉

Shunya Yoshimi

東京大学大学院
情報学環
教授



意見
助言

評価手法

▶ Creating Framework



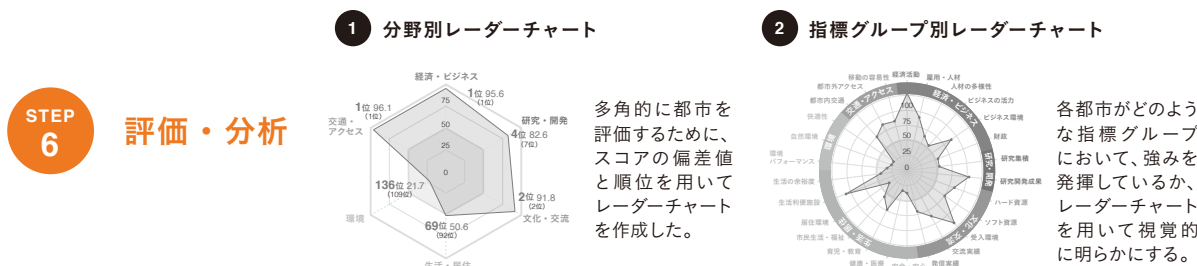
▶ Data Collection



▶ Indexation



▶ Evaluation and Analysis



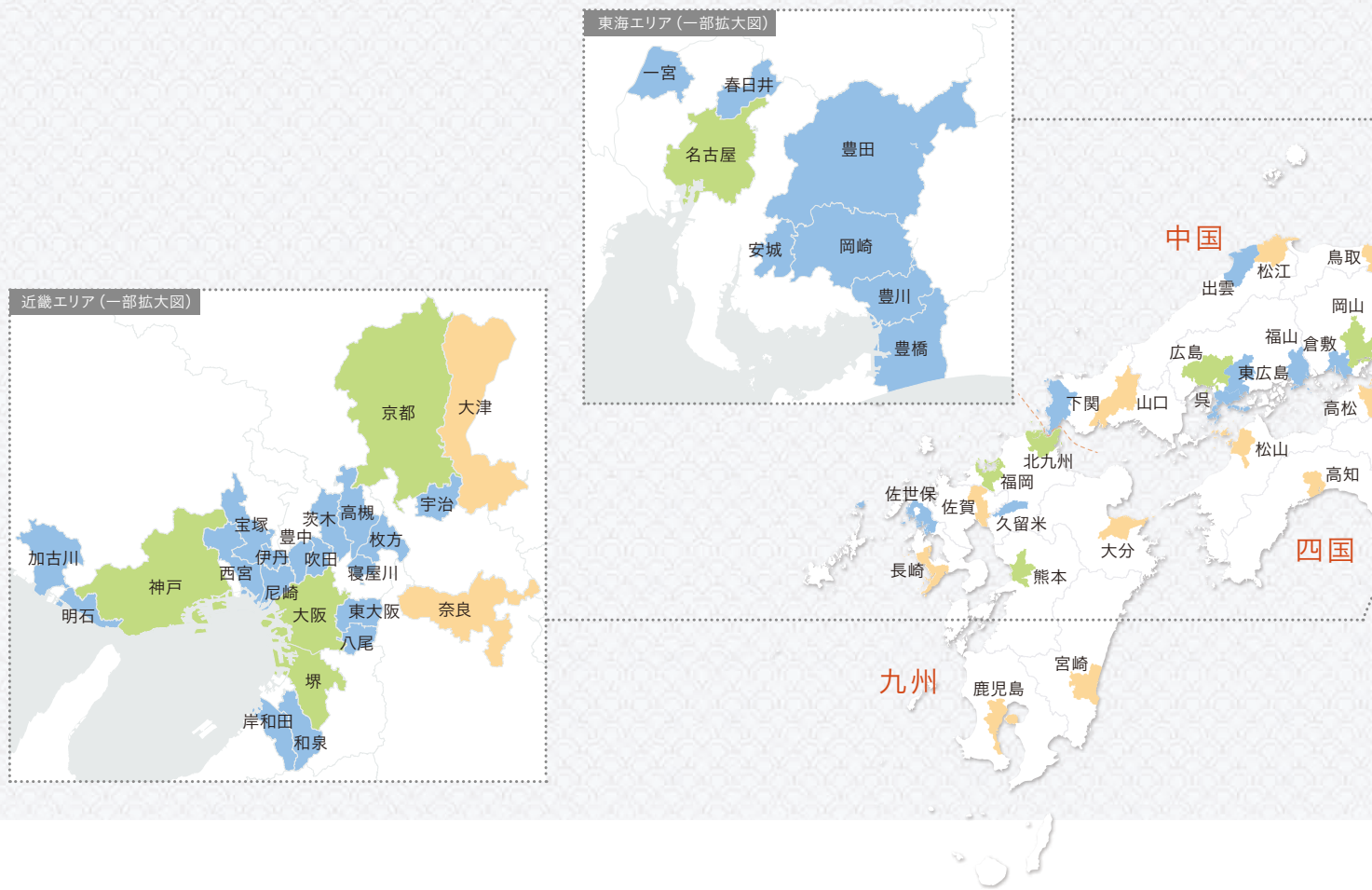
対象都市

Target Cities

本調査は、国内の138都市と東京23区を対象としている。
138都市については下記のとおり選定基準を設定し、抽出した。

1. 政令指定都市
2. 都道府県庁所在地（政令指定都市を除く）
3. 人口17万人以上の都市


	政令指定都市	都道府県庁所在地 (政令指定都市を除く)	人口17万人以上の都市
138 都市	北海道	札幌	函館・旭川・釧路・苫小牧
	東北	仙台	青森・盛岡・秋田・山形・福島
	関東	さいたま・千葉・横浜・川崎・相模原	水戸・宇都宮・前橋・甲府・長野
	東海	静岡・浜松・名古屋	岐阜・津
	北陸	新潟	富山・金沢・福井
	近畿	京都・大阪・堺・神戸	大津・奈良・和歌山
	中国	岡山・広島	鳥取・松江・山口
	四国		徳島・高松・松山・高知
	九州	北九州・福岡・熊本	佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島
	沖縄		那覇
東京 23区	千代田区・中央区・港区・新宿区・文京区・台東区・墨田区・江東区・品川区・目黒区・大田区・世田谷区・渋谷区・中野区・杉並区・豊島区・北区・荒川区・板橋区・練馬区・足立区・葛飾区・江戸川区		



評価体系

Evaluation System

各指標をスコア化し平均したものを指標グループのスコアとし、さらにそれらを合算して分野別スコアを算出した。合計スコアは、それらを合計して2,600点満点(経済・ビジネス600点、研究・開発200点、文化・交流500点、生活・居住700点、環境300点、交通・アクセス300点)で作成した。

分野	指標グループ	指標		
経済・ ビジネス	6 指標 グループ	経済活動	1 付加価値額 2 地域内総支出 3 昼夜間人口比率	
		雇用・人材	4 従業者数 5 賃金水準 6 高等教育修了者割合 7 若手人材の転入出	
		人材の多様性	8 女性就業者割合 9 外国人就業者割合 10 高齢者就業率	
		ビジネスの活力	11 新規設立法人登記割合 12 労働生産性 13 完全失業率	
		ビジネス環境	14 特区制度認定地域数 15 対事業所サービス従業者割合 16 新規不動産業用建築物供給面積 17 フレキシブル・ワークプレイス密度	
		財政	18 財政力指数 19 経常収支比率の低さ 20 実質公債費比率の低さ 21 将来負担比率の低さ	
	研究・開発	2 指標 グループ	研究集積	22 学術・開発研究機関従業者割合 23 トップ大学数
			研究開発成果	24 論文投稿数 25 グローバルニッチトップ企業数 26 特許取得数
		5 指標 グループ	ハード資源	27 観光地の数・評価 28 文化財指定件数 29 景観まちづくりへの積極度
			ソフト資源	30 イベントの数・評価 31 クリエイティブ産業従業者割合 32 文化・歴史・伝統への接触機会 
	受入環境		33 宿泊施設客室数 34 高級宿泊施設客室数 35 イベントホール座席数 36 観光案内所・病院の多言語対応	
	交流実績		37 休日の人の多さ 38 行楽・観光目的の訪問の多さ 39 国際会議・展示会開催件数	
	発信実績		40 観光客誘致活動 41 自治体 SNS フォロワー数 42 魅力度・認知度・観光意欲度	

分野	指標グループ	指標
----	--------	----

生活・居住	7 指標グループ	安全・安心	43	刑法犯認知件数の少なさ
			44	交通事故死亡者数の少なさ
			45	災害時の安全性
			46	空家率の低さ
		健康・医療	47	医師の多さ
			48	病院・診療所・病床の多さ
			49	平均寿命・健康寿命
	育児・教育	50	合計特殊出生率	
		51	保育ニーズの充足度	
		52	子どもの医療費支援	
		53	教育機会の多様性	
	市民生活・福祉	54	外国人住民の受入体制	
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	
		57	電子自治体推進度	
	居住環境	58	居住環境の満足度 ○	
		59	新規住宅供給の多さ	
		60	住宅の広さ	
		61	住宅のバリアフリー化率	
	生活利便施設	62	小売事業所密度	
		63	飲食店舗密度	
64		コンビニ密度		
生活の余裕度	65	可処分所得		
	66	物価水準の低さ		
	67	住宅コストの低さ		

環境	3 指標グループ	環境パフォーマンス	68	リサイクル率
			69	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ
			70	再生可能エネルギー自給率
	自然環境	71	自然環境の満足度 ○	
		72	都市地域緑地率	
	快適性	73	水辺の充実度	
		74	年間日照時間	
		75	気温・湿度が快適な日数	
		76	空気のきれいさ	
		77	街路の清潔さ ○	

交通・アクセス	3 指標グループ	都市内交通	78	公共交通の利便性 ○
			79	鉄道駅・バス停密度
			80	交通渋滞の少なさ
	都市外アクセス	81	空港アクセス時間の短さ	
		82	新幹線の利用のしやすさ	
		83	インターチェンジ数	
	移動の容易性	84	都市のコンパクトさ	
		85	通勤時間の短さ	
		86	自転車の利用のしやすさ ○	

○ : アンケートに基づく指標

合計スコアの上位16都市について、分野別および指標グループ別レーダーチャート(偏差値は対象138都市内で算出)を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

1 大阪市

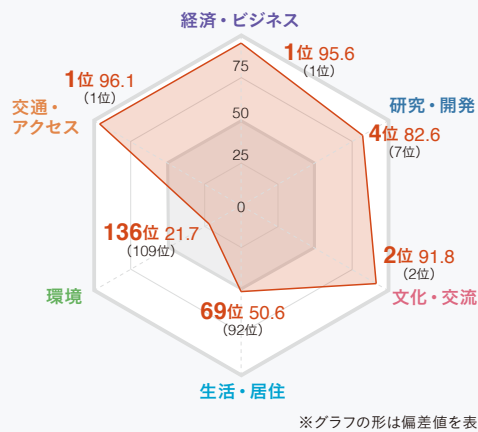
OSAKA



住みやすさの評価を高めた関西圏の中心都市

大阪市は、**経済・ビジネス**や**文化・交流**の高評価に加え、**交通・アクセス**、**環境**、**生活・居住**で昨年よりスコアを伸ばし、高い合計スコアを得た。**交通・アクセス**では、新規指標である自転車の利用のしやすさでも高スコアを獲得した。**環境**では、昼間人口あたりCO₂排出量の少なさで高評価を得たことから「環境パフォーマンス」での評価を高めた。**生活・居住**においては、新規指標である電子自治体推進度で138都市中1位を獲得したことなどから「市民生活・福祉」の評価が高まった。経済や文化の活発さに加えて暮らしの豊かさの向上が期待される。

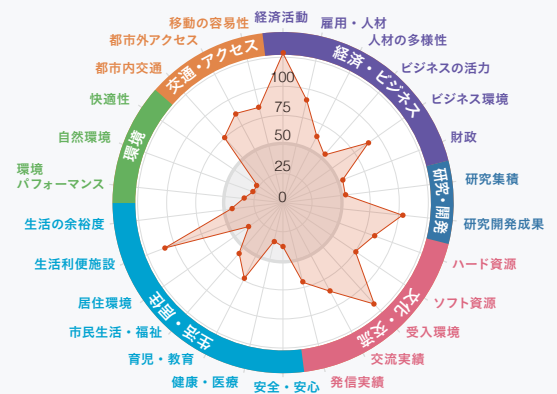
分野別の順位・偏差値



※グラフの形は偏差値を表す

□ 2021分野別偏差値 ● 偏差値50ライン
() 2020の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2021指標グループ別偏差値 ● 偏差値50ライン

2 京都市

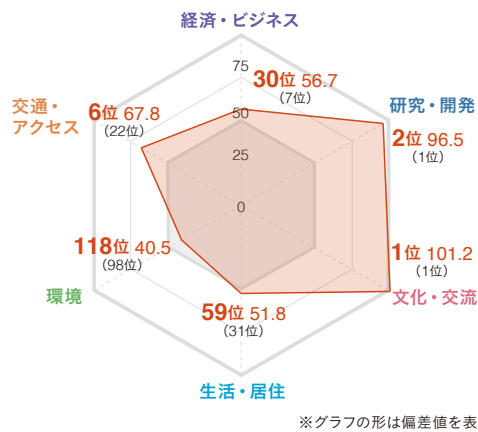
KYOTO



交通・アクセスの力を高めた世界的な文化都市

歴史や文化、食など様々な魅力にあふれる京都市は、圧倒的な強みである「ハード資源」のみならず、「ソフト資源」や「受入環境」、「交流実績」でも高い評価を得たことで、昨年同様、**文化・交流**がJPC対象138都市の中で1位であった。また、「研究集積」におけるトップ大学数や、「研究開発成果」の論文投稿数において高スコアを得たことで、**研究・開発**も名古屋市に次ぐ順位であった。さらに、〈自転車共存都市〉を目指している京都市は、自転車の利用のしやすさでも高評価を得ており、世界に誇る文化資源と日本トップクラスの知的集積に加えて、**交通・アクセス**の力も高めてきている。

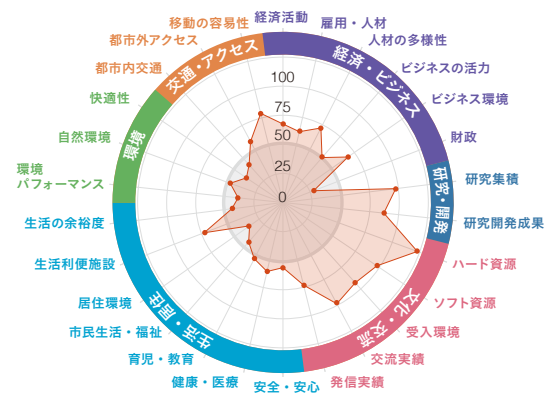
分野別の順位・偏差値



※グラフの形は偏差値を表す

□ 2021分野別偏差値 ● 偏差値50ライン
() 2020の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2021指標グループ別偏差値 ● 偏差値50ライン

3 福岡市

FUKUOKA

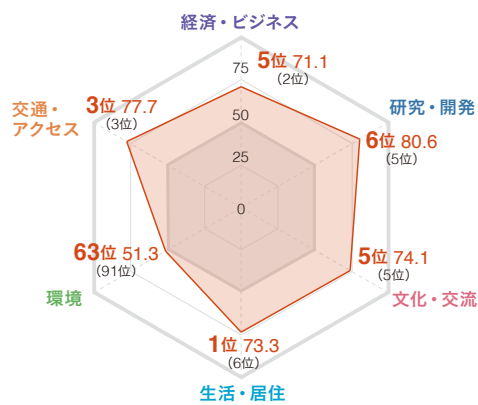


写真提供：福岡市

経済活力と住みやすさを兼ね備えた九州地方の最大都市

経済・ビジネスにおける「ビジネス環境」や交通・アクセスの「都市外アクセス」は昨年引き続き強みを有しつつ、今年はイベントホール座席数などの指標による文化・交流の「受入環境」のスコアが上昇した。さらに、災害時の安全性のスコア向上を受け、生活・居住の「安全・安心」も高評価を得た。環境は他の分野に比べて順位が低いものの、「環境パフォーマンス」や「快適性」など、全指標グループがスコアを伸ばしている。〈人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市づくりの実現〉を目指す福岡市は、バランス型都市として成長が続いており、今後さらにその存在感を高めていくことが見込まれる。

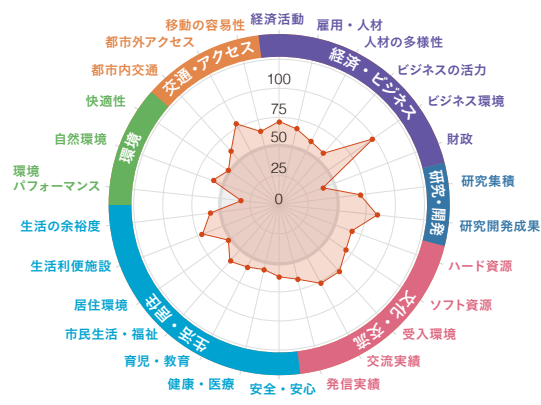
分野別の順位・偏差値



※グラフの形は偏差値を表す

□ 2021分野別偏差値 ● 偏差値50ライン
() 2020の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2021指標グループ別偏差値 ● 偏差値50ライン

138都市
結果・分析

4 横浜市

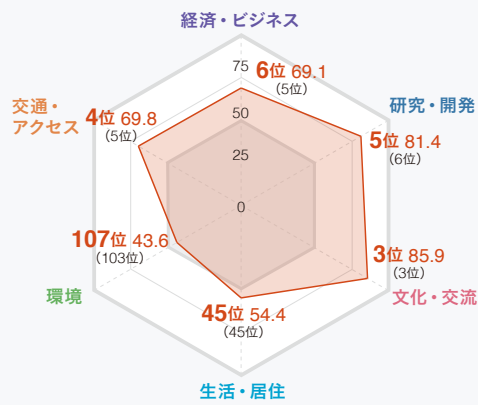
YOKOHAMA



多様な都市機能を有する交流拠点都市

横浜市は、文化・交流で高評価を得ており、今年は「交流実績」、「発信実績」、「受入環境」でさらにスコアを伸ばした。特に、景観まちづくりの積極度と自治体SNSフォロワー数は138都市中1位と高評価であった。〈世界の知が集まる交流拠点都市〉を目指す横浜市は、研究・開発の論文投稿数、グローバルニッチトップ企業数でスコアを伸ばし、新規指標である特許取得数でも高評価を得ており、横浜市が進める政策が結果に表れていることがうかがえる。経済・ビジネスや交通・アクセスも評価が高く、横浜市は多様な都市機能を有する活気あふれる都市であるといえる。

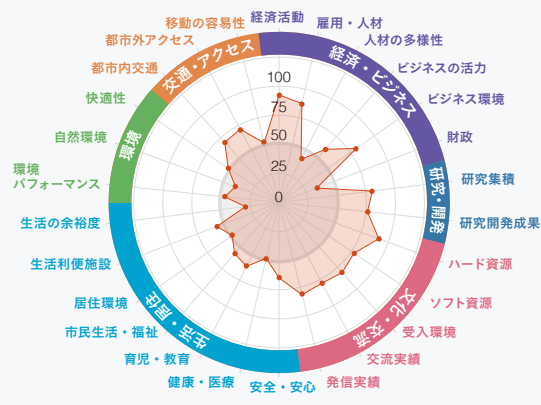
分野別の順位・偏差値



※グラフの形は偏差値を表す

□ 2021分野別偏差値 ● 偏差値50ライン
() 2020の順位

指標グループ別の偏差値



□ 2021指標グループ別偏差値 ● 偏差値50ライン

5 名古屋市

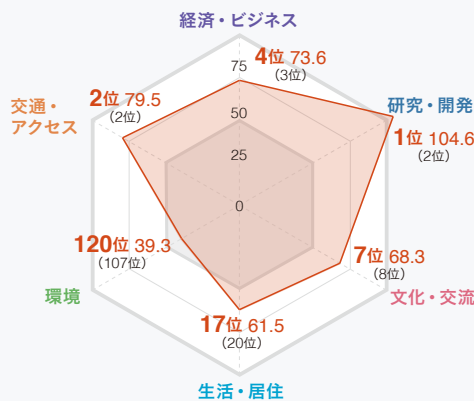
NAGOYA



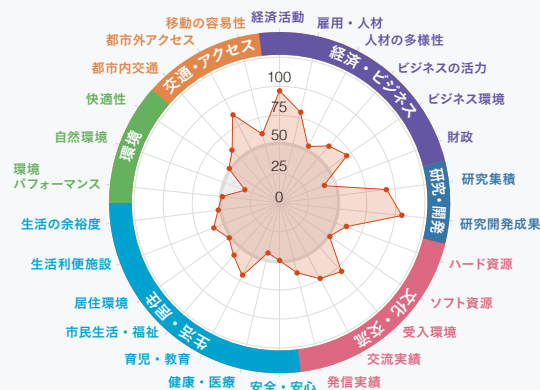
バランスよく総合力を高めた名古屋大都市圏の中核都市

これまでも研究・開発で高い評価を得てきた名古屋市であるが、今年は「研究集積」におけるトップ大学数のスコアをさらに伸ばした結果、研究・開発で京都を抜いて1位を獲得した。また、経済・ビジネスでは、「ビジネスの活力」における新規設立法人登記割合や、「ビジネス環境」の対事業所サービス従業者割合といった指標でスコアを伸ばした。さらに文化・交流の「受入環境」や「発信実績」、環境における「環境パフォーマンス」、「自然環境」でもスコアを伸ばした結果、バランスよく総合力を伸ばすことにつながり、名古屋大都市圏の中核都市としての位置づけをさらに高めた。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



6 神戸市

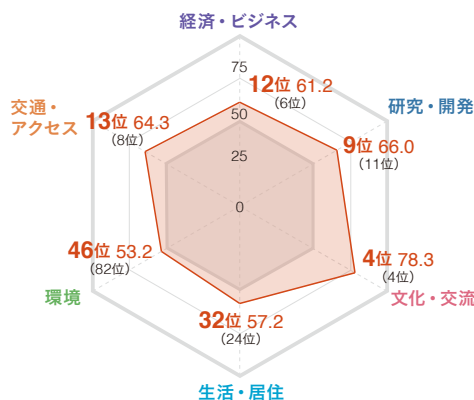
KOBE



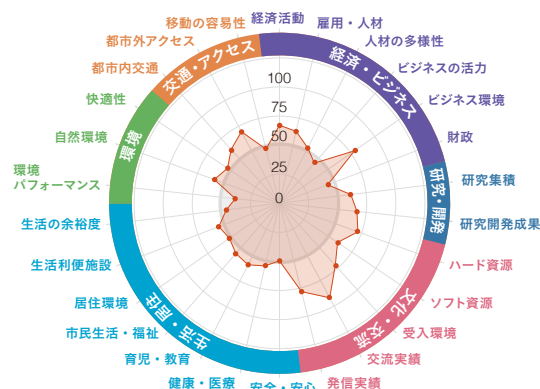
強い経済力と豊かな自然環境を有する文化交流都市

文化芸術施策を推進する神戸市は、文化・交流で強みを発揮しており、特に国際会議・展示会開催件数や行楽・観光目的の訪問の多さといった指標で構成される「交流実績」の評価が極めて高かった。昨年と比較すると環境で評価を上げており、水辺の充実度と空気のきれいさで相対的にスコアを伸ばすとともに、昼間人口あたりCO₂排出量の少なさで高評価を得た。「ビジネス環境」が突出して高いなど経済・ビジネスで高スコアを得ている一方で、環境の評価が大都市の中では比較的高いことから、活発な経済活動と豊かな自然環境を併せ持つ都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



7 仙台市

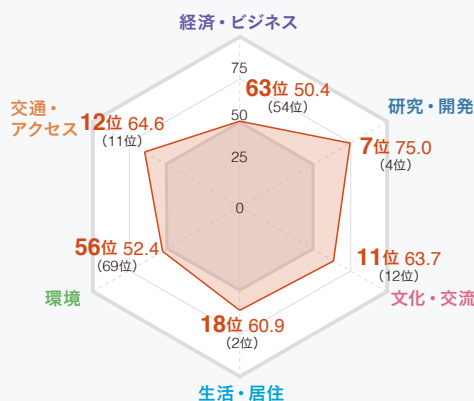
SENDAI



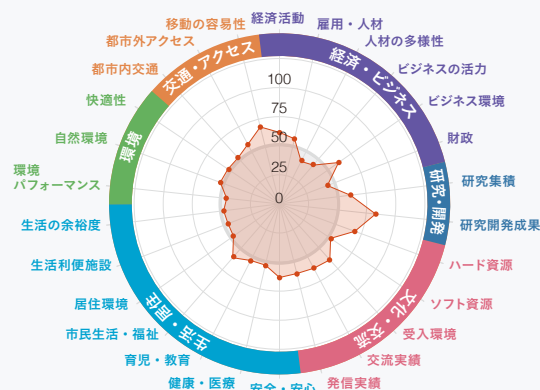
環境の魅力にさらに磨きをかけたバランス型都市

〈The Greenest City〉をまちづくり理念として掲げ、世界からも選ばれる住みやすい街を目指す仙台市は、平均偏差値を下回る分野がなく、今年もバランス力の高さを示す結果となった。分野別にみると環境で順位を上げているが、これは「環境パフォーマンス」の昼間人口あたりCO₂排出量の少なさで高スコアを得たためである。強みである研究・開発は順位をやや下げたものの、トップ大学数、論文投稿数、グローバルニッチトップ企業数といった指標で高評価を得たことで今年も上位を維持した。知的集積を経済・ビジネスの活力につなげることができれば、都市力がさらに高まるが見込まれる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



8 金沢市

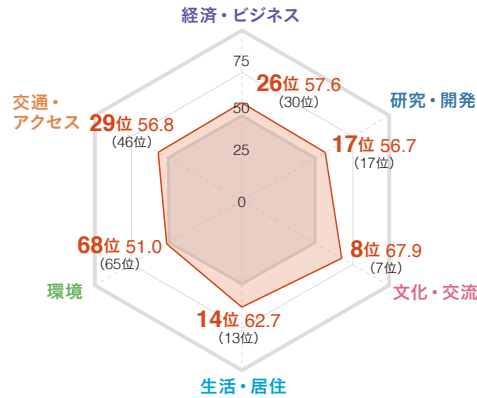
KANAZAWA



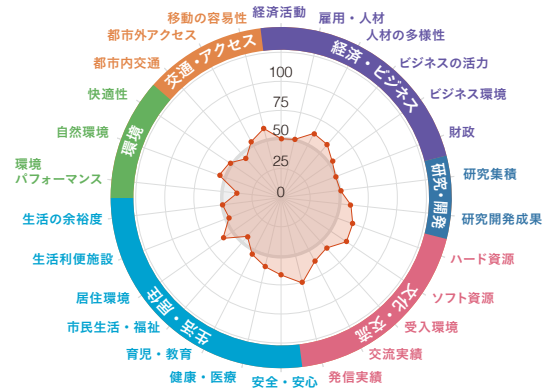
文化・歴史という魅力に加え、移動の利便性を伸ばした城下町

文化・交流が強みである金沢市は、「ソフト資源」や「ハード資源」、「交流実績」でスコアを若干落としたものの高順位を維持している。文化・歴史・伝統への接触機会や、魅力度・認知度・観光意欲度などの指標の強みが光った。生活・居住においても「安全・安心」の指標が昨年に引き続き高評価を得ている。また、交通・アクセスは、自転車の利用のしやすさの高評価が貢献して大きく順位を伸ばしており、(金沢市自転車活用推進計画)に基づく自転車を活用したまちづくりの成果がみられる。観光都市としての魅力に加え、生活のしやすさや移動の容易性を兼ね揃えた都市に成長していることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



9 松本市

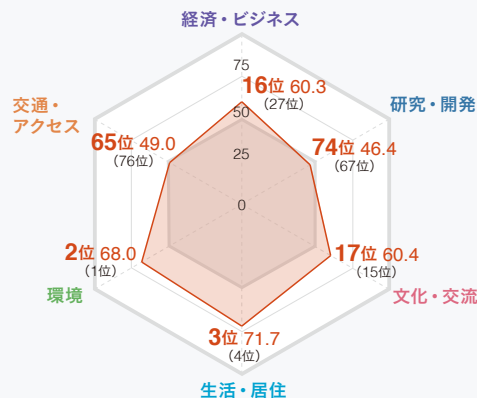
MATSUMOTO



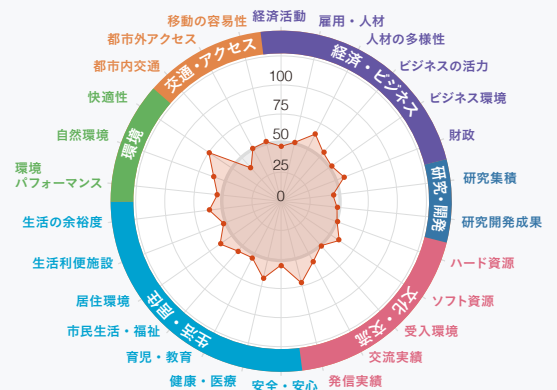
安定した経済力と自然環境を有する住みよい都市

北アルプスに象徴される豊かな自然を有し、充実した医療体制と健康寿命延伸の取組みが進められている松本市は、環境と生活・居住で高い評価を得た。環境は、気温・湿度が快適な日数や年間日照時間などで構成される「快適性」で強みを発揮した。生活・居住においては、特に平均寿命・健康寿命と医師の多さで高評価を獲得している。今年は経済・ビジネスでスコアを伸ばしており、新規指標である完全失業率での高評価、定義を変更した対事業所サービス従業者割合でのスコアの伸びがその要因に挙げられる。松本市は安定した経済力と豊かな自然環境を有する居住性の高い都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



10 札幌市

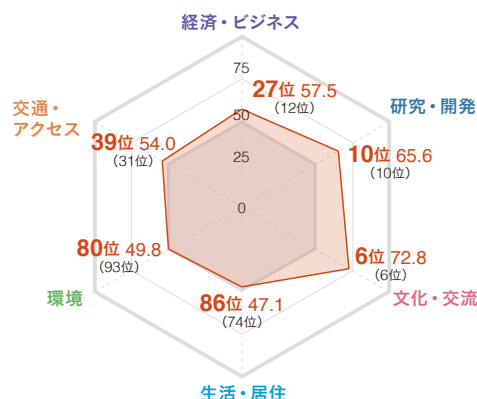
SAPPORO



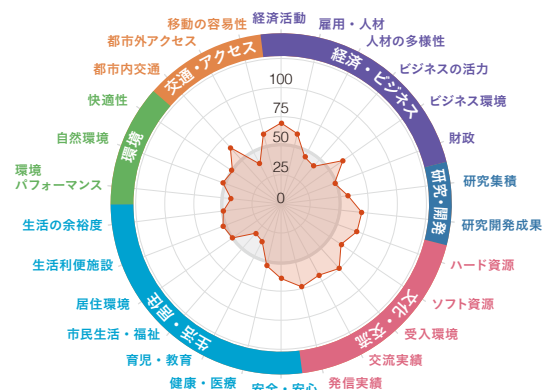
文化観光力、研究開発力、経済力を有する北海道の中心都市

札幌市は、文化・交流が強みであり、特に「受入環境」と「発信実績」のスコアが高い。また、「交流実績」の行楽・観光目的の訪問の多さでスコアを伸ばしており、札幌の観光地としての魅力が改めて明らかになった。研究・開発でも高評価を得ており、特に今年は、グローバルニッチトップ企業数でスコアを伸ばした。北海道の経済の中心地である札幌市は、経済・ビジネスでも比較的高評価を得ており、定義を変更した対事業所サービス従業者割合でスコアを伸ばし、「ビジネス環境」でも強みを見せた。札幌市は、文化観光産業、研究開発や経済に秀でた魅力的な都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



11 広島市

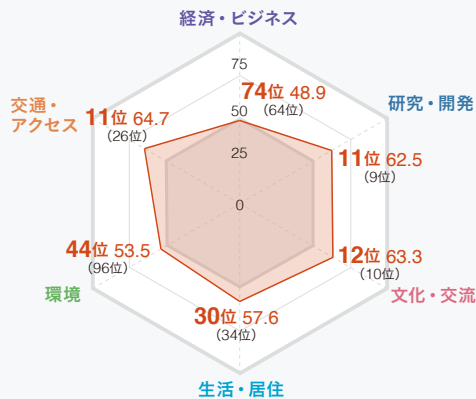
HIROSHIMA



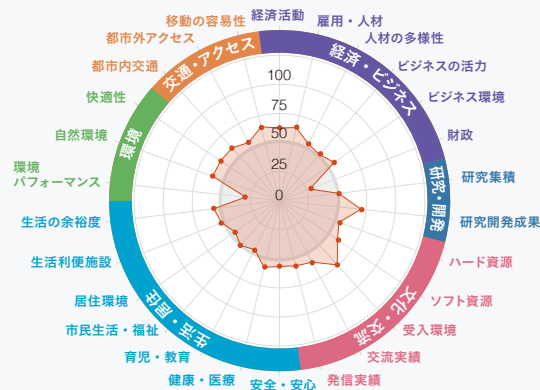
都市としてのバランス力が高い平和都市・広島

〈活力にあふれにぎわいのあるまち〉の実現に向けて、自転車を活かした都市づくりを推進している広島市は、**交通・アクセス**における自転車の利用のしやすさで高い評価を得た。強みである**研究・開発**では、「研究開発成果」の論文投稿数とグローバルニッチトップ企業数でスコアを伸ばした。もう一つの強みである**文化・交流**では、「受入環境」の観光案内所・病院の多言語対応で順位およびスコアを上げており、新型コロナウイルス感染症の終息後の外国人観光客の受入態勢に期待が持てる結果となった。その他の分野も全て平均偏差値を上回っており、平和都市・広島のバランス力の高さがうかがえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



12 浜松市

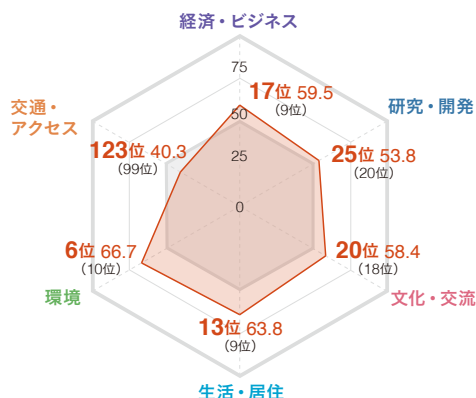
HAMAMATSU



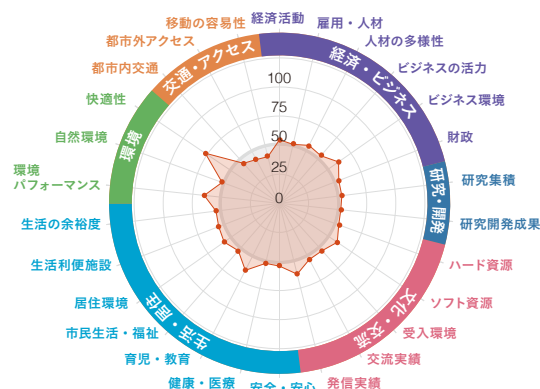
住み心地のよさと成長性を兼ね揃えた創造都市

〈未来へかがやく創造都市〉を将来の都市像に掲げる浜松市では、**生活・居住**と**環境**において強みをみせた。特に「育児・教育」の保育ニーズの充足度や「快適性」の年間日照時間で高いスコアを得ており、都市の住み心地の良さという点で、将来像どおりの魅力を感じさせている。**文化・交流**においては、「発信実績」のスコアを伸ばしており、創造都市としての魅力を対外的に発信する活力がみられる。質の良い生活環境と、さらなる成長が見込まれるその将来性が、創造都市・浜松市の大きな強みである。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



13 つくば市

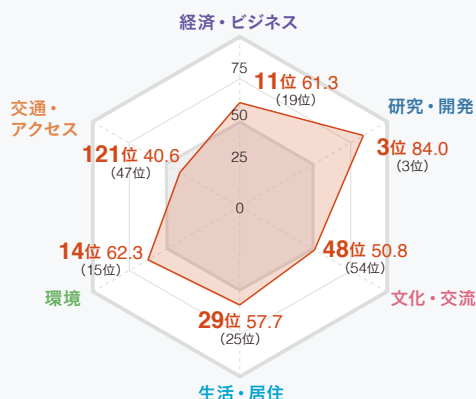
TSUKUBA



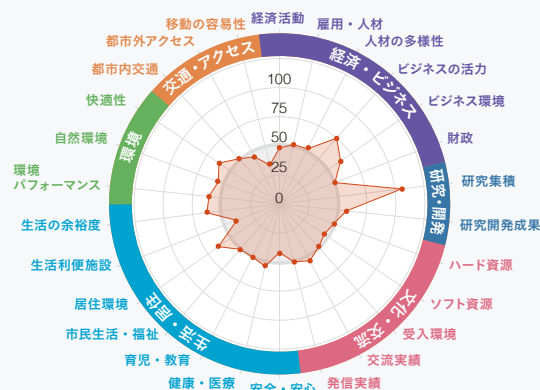
研究機関と住みよい都市環境を併せ持つサイエンスシティ

〈研究学園地区〉を有するつくば市は、**研究・開発**で高水準を維持しており、特に「研究集積」における学術・開発研究機関従業者割合は138都市中トップである。もう一つの強みである**環境**では「快適性」における空気のきれいさの順位が高く、クリーンな都市環境という特徴もみられる。それに加えて今年は、**文化・交流**の順位が上がっており、「発信実績」における観光客誘致活動や自治体SNSフォロワー数などはスコアを伸ばしている。豊富な研究機関と心地よい都市環境に加え、その魅力の発信力が高まっていることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



14 静岡市

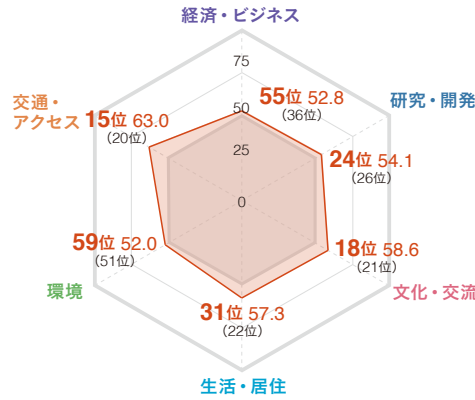
SHIZUOKA



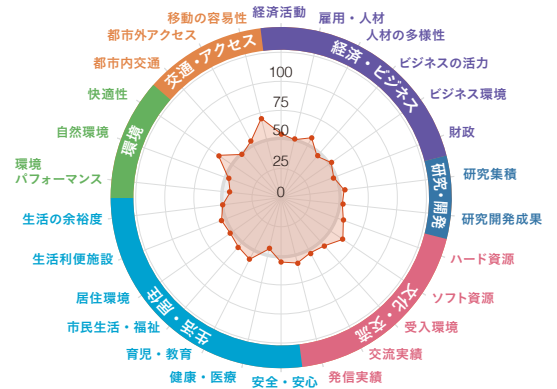
全ての魅力をバランスよく兼ね備えた都市

静岡市は突出した強みはない一方で、弱みとなる分野もなく非常にバランスの良い都市である。文化・交流では、世界遺産「三保松原」や国宝「久能山東照宮」を有していることもあり、観光地の数・評価や文化財指定件数といった「ハード資源」で高い評価を得ている。生活・居住は7つの指標グループのうち6つで平均を上回る評価を得ている。また、自転車の利用環境の充実を図っている同市は、交通・アクセスにおける自転車の利用のしやすさでも高スコアを得た。その他の分野についても全て平均偏差値を超えており、「世界に輝く静岡」を目標に掲げる静岡市は、総合的な魅力にあふれた都市であることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



15 豊田市

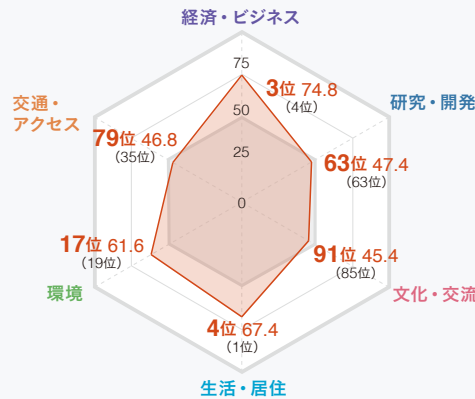
TOYOTA



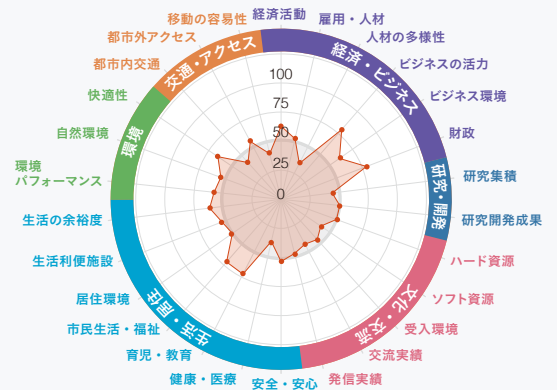
経済力や子育て環境に加え、自然環境の強みも伸ばした都市

最大の強みである経済・ビジネスにおいて「ビジネスの活力」や「財政」の評価が高い豊田市は、特に「財政」を構成する4指標のうち3指標が138都市中トップである。環境では、「環境パフォーマンス」の再生可能エネルギー自給率において昨年同様、高い評価を得た。生活・居住は、昨年から順位を落としたものの、「育児・教育」における強みは健在で、保育ニーズの充足度は全対象都市の中で最も高いスコアを維持している。経済やビジネスの活力と暮らしやすい生活環境という2つの強みに加えて、自然環境という第3の強みが今後どこまで伸びていくかが注目される。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



16 長野市

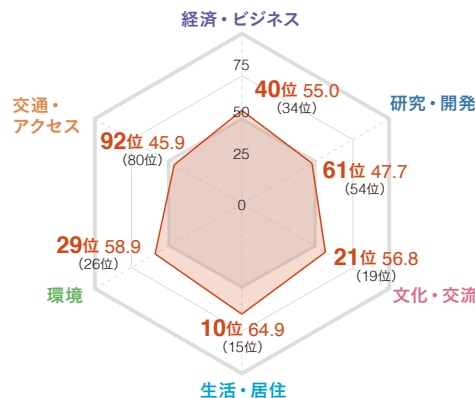
NAGANO



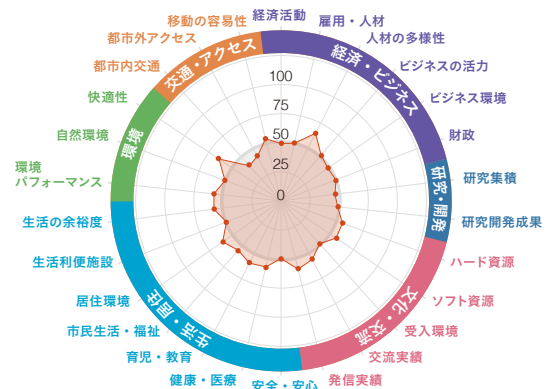
自然の快適性が文化・交流の魅力につながっている住みよいまち

環境の「快適性」で高い評価を得ている長野市は、キャンプやトレッキング、サイクリングなど、自然の中で楽しめるコンテンツを豊富に有している。さらに、国宝善光寺本堂などの文化資源も有しているため、文化・交流における「ハード資源」および「ソフト資源」で高い評価を得た。また、(自転車を活用した魅力あるまちづくり)を目指す長野市は、交通・アクセスの自転車の利用のしやすさでも高スコアを得ており、近距離の移動がしやすい都市であることがうかがえる。さらに、生活・居住の平均寿命・健康寿命が138都市中トップであることから、市民が健康的に暮らせる都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	268.1	41	豊中市	156.6
2	安城市	214.8	42	小田原市	155.6
3	豊田市	211.4	43	西東京市	155.3
4	名古屋市	207.9	44	八千代市	155.1
5	福岡市	201.2	45	船橋市	154.9
6	横浜市	195.7	46	鈴鹿市	154.8
7	四日市市	181.3	47	一宮市	154.7
8	三鷹市	178.3	48	日野市	153.7
9	立川市	177.9	49	町田市	153.0
10	府中市	175.5	50	春日井市	152.8
11	つくば市	174.6	51	佐賀市	152.8
12	神戸市	174.2	52	姫路市	152.7
13	岡崎市	173.8	53	津市	151.5
14	岐阜市	173.7	54	川口市	151.4
15	小平市	171.7	55	静岡市	151.3
16	松本市	171.7	56	松戸市	150.6
17	浜松市	169.6	57	高槻市	149.4
18	川崎市	169.5	58	枚方市	149.0
19	豊川市	169.2	59	宝塚市	147.1
20	岡山市	166.7	60	沼津市	147.0
21	さいたま市	166.5	61	富士市	146.0
22	調布市	166.0	62	佐倉市	145.8
23	福山市	165.7	63	仙台市	144.7
24	吹田市	165.2	64	宇都宮市	144.5
25	柏市	164.9	65	熊谷市	144.4
26	金沢市	164.4	66	相模原市	144.3
27	札幌市	164.2	67	山口市	144.1
28	流山市	162.3	68	高松市	143.7
29	厚木市	162.3	69	所沢市	143.7
30	京都市	162.0	70	久留米市	143.1
31	東広島市	161.9	71	富山市	142.7
32	市川市	161.8	72	宮崎市	142.5
33	豊橋市	161.8	73	宇治市	141.4
34	茨木市	161.0	74	広島市	140.6
35	鎌倉市	160.3	75	福島市	140.1
36	八王子市	160.1	76	福井市	140.0
37	大津市	158.9	77	鹿児島市	140.0
38	西宮市	158.1	78	倉敷市	139.1
39	藤沢市	157.7	79	高崎市	139.0
40	長野市	157.4	80	茅ヶ崎市	139.0

81
138
函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,盛岡市,秋田市,山形市,郡山市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,伊勢崎市,太田市,川越市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市原市,横須賀市,平塚市,大和市,新潟市,長岡市,上越市,高岡市,甲府市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,明石市,伊丹市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,呉市,下関市,徳島市,松山市,高知市,北九州市,長崎市,佐世保市,熊本市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



研究・開発

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	名古屋市	108.8	41	宮崎市	13.3
2	京都市	94.5	42	東広島市	13.0
3	つくば市	72.6	43	高槻市	12.9
4	大阪市	70.1	44	藤沢市	12.9
5	横浜市	68.0	45	徳島市	12.3
6	福岡市	66.5	46	津市	11.9
7	仙台市	56.7	47	相模原市	11.4
8	厚木市	45.3	48	佐賀市	11.3
9	神戸市	40.9	49	松山市	11.1
10	札幌市	40.1	50	川越市	10.9
11	広島市	34.7	51	福島市	10.3
12	川崎市	30.2	52	府中市	10.3
13	八王子市	27.5	53	茨木市	9.9
14	北九州市	26.1	54	横須賀市	9.9
15	吹田市	25.3	55	豊橋市	9.7
16	新潟市	25.0	56	久留米市	9.7
17	金沢市	24.6	57	富山市	9.6
18	宇都宮市	22.5	58	小平市	9.5
19	さいたま市	22.5	59	日立市	9.5
20	岡山市	22.3	60	福井市	9.3
21	千葉市	21.8	61	長野市	8.7
22	調布市	21.1	62	堺市	8.6
23	三鷹市	20.5	63	豊田市	8.3
24	静岡市	20.1	64	市川市	8.1
25	浜松市	19.5	65	鎌倉市	7.8
26	熊本市	18.4	66	日野市	7.6
27	秋田市	18.0	67	松戸市	7.4
28	函館市	17.3	68	奈良市	7.4
29	柏市	17.2	69	前橋市	7.4
30	西宮市	17.1	70	倉敷市	7.2
31	鹿児島市	15.9	71	高知市	7.1
32	枚方市	15.3	72	平塚市	6.8
33	長崎市	15.0	73	尼崎市	6.5
34	豊中市	14.9	74	松本市	6.4
35	大津市	14.6	75	甲府市	6.3
36	高松市	14.2	76	山形市	6.3
37	宇治市	14.0	77	松江市	5.7
38	盛岡市	13.4	78	鳥取市	5.7
39	岐阜市	13.3	79	船橋市	5.5
40	長岡市	13.3	80	太田市	5.4

81
138
旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,郡山市,いわき市,水戸市,高崎市,伊勢崎市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,佐倉市,市原市,流山市,八千代市,立川市,町田市,西東京市,小田原市,茅ヶ崎市,大和市,上越市,高岡市,沼津市,富士市,岡崎市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,明石市,伊丹市,加古川市,宝塚市,和歌山市,出雲市,呉市,福山市,下関市,山口市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)



文化・交流

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	334.2	41	大津市	88.3
2	大阪市	287.5	42	甲府市	88.0
3	横浜市	257.9	43	立川市	86.1
4	神戸市	220.4	44	岐阜市	85.9
5	福岡市	199.6	45	鳥取市	85.5
6	札幌市	192.9	46	高知市	85.0
7	名古屋市	170.7	47	旭川市	84.2
8	金沢市	168.9	48	つくば市	84.0
9	長崎市	153.0	49	福井市	83.7
10	那覇市	151.1	50	府中市	83.5
11	仙台市	147.8	51	宮崎市	82.8
12	広島市	145.8	52	和歌山市	81.9
13	鎌倉市	142.9	53	下関市	81.6
14	奈良市	142.1	54	宇治市	81.2
15	函館市	133.9	55	沼津市	81.2
16	北九州市	133.7	56	いわき市	79.8
17	松本市	131.5	57	大分市	78.2
18	静岡市	122.5	58	福島市	77.8
19	姫路市	121.8	59	青森市	77.0
20	浜松市	121.5	60	川崎市	76.8
21	長野市	113.7	61	宇都宮市	76.5
22	熊本市	110.0	62	徳島市	75.4
23	高松市	109.1	63	八王子市	75.4
24	倉敷市	107.9	64	横須賀市	74.4
25	松山市	107.4	65	藤沢市	73.9
26	出雲市	105.6	66	山形市	73.5
27	鹿児島市	103.7	67	長岡市	73.3
28	小田原市	98.2	68	堺市	72.8
29	千葉市	97.6	69	久留米市	71.2
30	富山市	96.0	70	富士市	71.2
31	川越市	95.5	71	郡山市	70.7
32	弘前市	94.4	72	宝塚市	70.7
33	水戸市	93.3	73	西宮市	70.5
34	岡山市	92.9	74	高崎市	68.4
35	さいたま市	91.6	75	秋田市	68.3
36	盛岡市	91.4	76	調布市	67.1
37	新潟市	90.9	77	八戸市	65.9
38	釧路市	90.9	78	明石市	65.8
39	松江市	89.7	79	呉市	65.4
40	佐世保市	89.2	80	高岡市	64.9

81
} 138
苦小牧市,日立市,前橋市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八千代市,三鷹市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,豊橋市,岡崎市,一宮市,春日井市,豊川市,豊田市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,岸和田市,豊中市,吹田市,高槻市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,福山市,東広島市,山口市,佐賀市

(市区町村コード順)



生活・居住

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	353.1	41	岡山市	306.6
2	出雲市	350.6	42	大分市	306.6
3	松本市	348.7	43	佐世保市	304.2
4	豊田市	337.3	44	鳥取市	303.2
5	甲府市	335.8	45	横浜市	303.2
6	前橋市	335.7	46	東広島市	303.1
7	熊本市	335.3	47	松江市	303.0
8	福井市	333.1	48	新潟市	302.4
9	山形市	331.6	49	茨木市	301.7
10	長野市	330.9	50	四日市市	301.0
11	岡崎市	328.1	51	流山市	300.6
12	豊橋市	327.8	52	倉敷市	298.9
13	浜松市	327.8	53	宮崎市	298.7
14	金沢市	325.1	54	さいたま市	298.6
15	久留米市	324.7	55	高槻市	298.0
16	鹿児島市	321.9	56	長岡市	296.9
17	名古屋市	321.8	57	宝塚市	296.7
18	仙台市	320.2	58	高岡市	296.4
19	長崎市	319.4	59	京都市	296.3
20	奈良市	319.4	60	松山市	296.3
21	佐賀市	318.5	61	藤沢市	296.0
22	吹田市	317.7	62	鎌倉市	295.7
23	安城市	317.0	63	郡山市	295.7
24	富士市	316.8	64	上越市	294.7
25	西宮市	314.8	65	春日井市	294.6
26	岐阜市	314.8	66	柏市	294.3
27	高崎市	313.6	67	鈴鹿市	294.2
28	豊中市	312.1	68	厚木市	293.3
29	つくば市	311.8	69	大阪市	293.1
30	広島市	311.4	70	盛岡市	292.5
31	静岡市	310.7	71	水戸市	292.2
32	神戸市	310.6	72	大津市	292.1
33	沼津市	310.3	73	所沢市	291.9
34	福島市	309.0	74	秋田市	291.8
35	三鷹市	308.8	75	明石市	291.6
36	富山市	308.8	76	宇都宮市	290.9
37	一宮市	308.5	77	枚方市	290.8
38	豊川市	307.9	78	福山市	290.7
39	高松市	307.4	79	大和市	290.3
40	北九州市	307.0	80	川越市	289.6

81
} 138
札幌市,函館市,旭川市,釧路市,苦小牧市,青森市,弘前市,八戸市,いわき市,日立市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,千葉市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,市原市,八千代市,八王子市,立川市,府中市,調布市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,相模原市,横須賀市,平塚市,小田原市,茅ヶ崎市,津市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,呉市,下関市,山口市,徳島市,高知市,那覇市

(市区町村コード順)

分野別スコア

Function-Specific Scores



環境



交通・アクセス

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	宮崎市	181.7	41	大津市	155.4
2	松本市	180.5	42	八王子市	154.5
3	豊橋市	180.1	43	日立市	154.0
4	山口市	178.7	44	広島市	152.6
5	津市	178.4	45	水戸市	152.1
6	浜松市	178.1	46	神戸市	152.0
7	鎌倉市	175.9	47	北九州市	151.7
8	前橋市	175.9	48	新潟市	151.7
9	呉市	175.5	49	鈴鹿市	151.4
10	下関市	175.4	50	佐倉市	151.4
11	松江市	174.2	51	和泉市	151.2
12	出雲市	173.2	52	姫路市	151.2
13	豊川市	170.6	53	岡崎市	151.1
14	つくば市	169.6	54	倉敷市	150.9
15	佐世保市	169.5	55	岡山市	150.8
16	東広島市	168.7	56	仙台市	150.5
17	豊田市	168.3	57	藤沢市	150.3
18	鳥取市	167.6	58	岐阜市	150.2
19	富山市	167.2	59	静岡市	149.8
20	高知市	167.1	60	所沢市	149.7
21	熊本市	166.0	61	苫小牧市	149.1
22	いわき市	165.8	62	太田市	148.6
23	松山市	165.0	63	福岡市	148.5
24	鹿児島市	164.6	64	高槻市	148.2
25	横須賀市	164.6	65	久留米市	148.1
26	宝塚市	163.9	66	富士市	147.9
27	大分市	163.8	67	安城市	147.8
28	高崎市	163.5	68	金沢市	147.8
29	長野市	163.0	69	相模原市	147.5
30	小田原市	162.4	70	伊勢崎市	147.4
31	佐賀市	161.7	71	甲府市	146.9
32	長崎市	160.7	72	宇都宮市	146.8
33	西宮市	159.9	73	府中市	146.8
34	盛岡市	158.2	74	明石市	146.4
35	高松市	157.9	75	千葉市	146.1
36	奈良市	157.0	76	和歌山市	146.0
37	沼津市	156.7	77	茅ヶ崎市	145.9
38	秋田市	156.5	78	平塚市	145.8
39	茨木市	156.0	79	調布市	145.8
40	徳島市	155.9	80	札幌市	145.5

81
138
函館市,旭川市,釧路市,青森市,弘前市,八戸市,山形市,福島市,郡山市,さいたま市,川越市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,柏市,市原市,流山市,八千代市,立川市,三鷹市,町田市,小平市,日野市,西東京市,横浜市,川崎市,厚木市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,福井市,名古屋市,一宮市,春日井市,四日市市,京都市,宇治市,大阪市,堺市,岸和田市,豊中市,吹田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,福山市,那覇市

(市区町村コード順)

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	214.5	41	船橋市	130.8
2	名古屋市	181.7	42	岸和田市	130.6
3	福岡市	178.1	43	日野市	130.2
4	横浜市	162.4	44	一宮市	129.4
5	伊丹市	158.9	45	明石市	128.6
6	京都市	158.6	46	奈良市	128.1
7	豊中市	158.1	47	市原市	128.0
8	千葉市	156.8	48	苫小牧市	127.7
9	尼崎市	156.6	49	横須賀市	127.5
10	川崎市	155.7	50	那覇市	126.7
11	広島市	152.3	51	大和市	126.4
12	仙台市	152.2	52	旭川市	126.4
13	神戸市	151.5	53	宝塚市	126.3
14	吹田市	149.0	54	春日井市	126.0
15	静岡市	148.9	55	草加市	125.1
16	北九州市	145.7	56	西東京市	124.9
17	西宮市	144.8	57	茅ヶ崎市	124.0
18	高槻市	143.1	58	平塚市	123.8
19	函館市	142.6	59	久留米市	123.6
20	三鷹市	141.9	60	藤沢市	123.5
21	調布市	140.4	61	宇治市	123.0
22	堺市	140.1	62	枚方市	122.8
23	川口市	139.9	63	八千代市	122.5
24	茨木市	139.5	64	姫路市	122.2
25	東大阪市	138.7	65	松本市	121.3
26	さいたま市	138.0	66	和泉市	121.0
27	寝屋川市	137.4	67	岡山市	121.0
28	盛岡市	137.4	68	岐阜市	119.6
29	金沢市	136.6	69	熊本市	119.5
30	市川市	136.1	70	富山市	119.1
31	新潟市	135.9	71	山口市	119.0
32	青森市	135.8	72	鳥取市	118.7
33	八尾市	134.8	73	高知市	118.4
34	府中市	134.7	74	大津市	118.0
35	秋田市	134.0	75	厚木市	118.0
36	鹿児島市	132.5	76	高松市	117.7
37	釧路市	132.1	77	小平市	117.3
38	松山市	131.8	78	佐賀市	117.1
39	札幌市	131.2	79	豊田市	116.9
40	立川市	131.1	80	郡山市	116.6

81
138
弘前市,八戸市,山形市,福島市,いわき市,水戸市,日立市,つくば市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,越谷市,松戸市,佐倉市,柏市,流山市,八王子市,町田市,相模原市,鎌倉市,小田原市,長岡市,上越市,高岡市,福井市,甲府市,長野市,浜松市,沼津市,富士市,豊橋市,岡崎市,豊川市,安城市,津市,四日市市,鈴鹿市,加古川市,和歌山市,松江市,出雲市,倉敷市,呉市,福山市,東広島市,下関市,徳島市,長崎市,佐世保市,大分市,宮崎市

(市区町村コード順)

合計スコア

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	1,224.8	41	大津市	827.4
2	京都市	1,173.2	42	川崎市	824.7
3	福岡市	1,147.0	43	那覇市	823.3
4	横浜市	1,120.8	44	佐賀市	823.1
5	名古屋市	1,116.3	45	立川市	821.6
6	神戸市	1,049.6	46	福井市	820.6
7	仙台市	972.0	47	久留米市	820.4
8	金沢市	967.3	48	倉敷市	817.2
9	松本市	960.1	49	甲府市	816.5
10	札幌市	957.7	50	盛岡市	816.3
11	広島市	937.4	51	藤沢市	814.4
12	浜松市	920.5	52	松江市	813.5
13	つくば市	917.2	53	豊中市	812.5
14	静岡市	903.2	54	厚木市	810.6
15	豊田市	899.5	55	調布市	808.8
16	長野市	888.7	56	鳥取市	808.7
17	熊本市	886.6	57	東広島市	808.4
18	鎌倉市	882.7	58	宝塚市	807.3
19	北九州市	882.7	59	大分市	805.9
20	鹿児島市	878.6	60	沼津市	804.9
21	奈良市	870.9	61	八王子市	804.8
22	西宮市	865.2	62	前橋市	804.0
23	長崎市	863.7	63	豊川市	802.4
24	岡山市	860.3	64	小田原市	802.0
25	岐阜市	857.6	65	茨木市	801.3
26	三鷹市	854.8	66	山形市	799.1
27	高松市	850.1	67	富士市	797.4
28	松山市	846.4	68	山口市	796.8
29	豊橋市	844.1	69	高槻市	795.5
30	千葉市	844.1	70	四日市市	795.4
31	富山市	843.2	71	津市	794.1
32	吹田市	839.7	72	福島市	791.1
33	府中市	838.1	73	函館市	786.2
34	さいたま市	836.3	74	高崎市	785.4
35	宮崎市	835.5	75	秋田市	782.7
36	安城市	834.8	76	佐世保市	781.1
37	出雲市	834.2	77	宇都宮市	780.9
38	岡崎市	834.0	78	宇治市	777.8
39	新潟市	833.1	79	一宮市	774.4
40	姫路市	831.4	80	水戸市	773.8

81
} 旭川市, 釧路市, 苫小牧市, 青森市, 弘前市, 八戸市, 郡山市, いわき市, 日立市, 伊勢崎市, 太田市, 川越市, 熊谷市, 川口市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 佐倉市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 相模原市, 横須賀市, 平塚市, 茅ヶ崎市, 大和市, 長岡市, 上越市, 高岡市, 春日井市, 鈴鹿市, 堺市, 岸和田市, 枚方市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 尼崎市, 明石市, 伊丹市, 加古川市, 和歌山市, 呉市, 福山市, 下関市, 徳島市, 高知市

138

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では、「アクター」(シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者)を6設定した。アクター別スコア算出のために、まずは、各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数23/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	55.7	41	那覇市	43.0
2	大阪市	50.7	42	浜松市	43.0
3	豊中市	49.9	43	岐阜市	43.0
4	名古屋市	49.3	44	川崎市	42.9
5	広島市	48.7	45	秋田市	42.7
6	鹿児島市	47.9	46	一宮市	42.7
7	松本市	47.5	47	明石市	42.7
8	松山市	47.2	48	つくば市	42.3
9	神戸市	46.9	49	函館市	42.3
10	西宮市	46.6	50	伊丹市	42.1
11	横浜市	46.3	51	豊川市	42.1
12	吹田市	46.0	52	松江市	42.0
13	静岡市	46.0	53	新潟市	42.0
14	熊本市	45.8	54	福井市	41.9
15	北九州市	45.8	55	堺市	41.9
16	仙台市	45.6	56	宝塚市	41.8
17	宮崎市	45.3	57	さいたま市	41.8
18	奈良市	45.0	58	藤沢市	41.7
19	豊田市	44.7	59	前橋市	41.7
20	三鷹市	44.6	60	倉敷市	41.5
21	東広島市	44.5	61	大和市	41.4
22	京都市	44.5	62	佐世保市	41.3
23	出雲市	44.3	63	高崎市	41.2
24	甲府市	44.3	64	高知市	41.1
25	金沢市	44.0	65	札幌市	41.0
26	佐賀市	44.0	66	下関市	40.9
27	茨木市	44.0	67	枚方市	40.5
28	千葉市	43.9	68	調布市	40.4
29	高槻市	43.8	69	府中市	40.3
30	豊橋市	43.7	70	津市	40.3
31	久留米市	43.7	71	春日井市	40.2
32	大分市	43.6	72	姫路市	40.2
33	長野市	43.6	73	呉市	40.1
34	山口市	43.5	74	和歌山市	40.0
35	高松市	43.5	75	富山市	39.8
36	長崎市	43.4	76	鈴鹿市	39.8
37	鳥取市	43.3	77	郡山市	39.6
38	岡崎市	43.2	78	四日市市	39.6
39	盛岡市	43.1	79	山形市	39.5
40	岡山市	43.1	80	所沢市	39.5

旭川市, 釧路市, 苫小牧市, 青森市, 弘前市, 八戸市, 福島市, いわき市, 水戸市, 日立市, 宇都宮市, 伊勢崎市, 太田市, 川越市, 熊谷市, 川口市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 佐倉市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 八王子市, 立川市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 相模原市, 横須賀市, 平塚市, 鎌倉市, 小田原市, 茅ヶ崎市, 厚木市, 長岡市, 上越市, 高岡市, 沼津市, 富士市, 安城市, 大津市, 宇治市, 岸和田市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 尼崎市, 加古川市, 福山市, 徳島市

(市区町村コード順)



ファミリー 指標数40/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	54.4	41	東広島市	45.1
2	松本市	49.7	42	甲府市	45.0
3	鹿児島市	49.2	43	山形市	44.7
4	熊本市	48.7	44	大分市	44.6
5	出雲市	48.4	45	高崎市	44.5
6	仙台市	48.2	46	高知市	44.4
7	金沢市	48.0	47	高槻市	44.4
8	神戸市	47.9	48	吹田市	44.3
9	大阪市	47.5	49	岡崎市	44.1
10	名古屋市	47.4	50	茨木市	44.1
11	広島市	47.4	51	豊川市	44.0
12	松山市	47.3	52	岡山市	44.0
13	豊田市	47.0	53	千葉市	44.0
14	宮崎市	47.0	54	福島市	43.9
15	横浜市	47.0	55	札幌市	43.8
16	久留米市	47.0	56	三鷹市	43.7
17	北九州市	47.0	57	弘前市	43.5
18	浜松市	46.9	58	津市	43.5
19	西宮市	46.7	59	函館市	43.5
20	静岡市	46.7	60	那覇市	43.4
21	豊橋市	46.6	61	下関市	43.4
22	前橋市	46.5	62	一宮市	43.4
23	鳥取市	46.5	63	郡山市	43.3
24	佐賀市	46.5	64	和歌山市	43.3
25	富山市	46.4	65	姫路市	43.3
26	岐阜市	46.3	66	青森市	42.9
27	長崎市	46.3	67	宝塚市	42.7
28	つくば市	46.1	68	明石市	42.7
29	豊中市	46.0	69	倉敷市	42.5
30	長野市	45.9	70	富士市	42.4
31	奈良市	45.8	71	水戸市	42.4
32	高松市	45.8	72	徳島市	42.3
33	盛岡市	45.7	73	安城市	42.3
34	松江市	45.7	74	大津市	42.2
35	京都市	45.5	75	八戸市	42.2
36	秋田市	45.4	76	長岡市	42.2
37	佐世保市	45.3	77	福山市	42.1
38	新潟市	45.2	78	藤沢市	42.1
39	福井市	45.1	79	春日井市	42.0
40	山口市	45.1	80	堺市	42.0

旭川市, 釧路市, 苫小牧市, いわき市, 日立市, 宇都宮市, 伊勢崎市, 太田市, さいたま市, 川越市, 熊谷市, 川口市, 所沢市, 春日部市, 上尾市, 草加市, 越谷市, 市川市, 船橋市, 松戸市, 佐倉市, 柏市, 市原市, 流山市, 八千代市, 八王子市, 立川市, 府中市, 調布市, 町田市, 小平市, 日野市, 西東京市, 川崎市, 相模原市, 横須賀市, 平塚市, 鎌倉市, 小田原市, 茅ヶ崎市, 厚木市, 大和市, 上越市, 高岡市, 沼津市, 四日市市, 鈴鹿市, 宇治市, 岸和田市, 枚方市, 八尾市, 寝屋川市, 和泉市, 東大阪市, 尼崎市, 伊丹市, 加古川市, 呉市

(市区町村コード順)



シニア

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	福岡市	53.3	41	北九州市	46.0
2	松本市	52.9	42	山形市	45.8
3	宮崎市	49.9	43	福井市	45.8
4	仙台市	49.9	44	岐阜市	45.8
5	広島市	49.9	45	高知市	45.8
6	出雲市	49.9	46	豊川市	45.7
7	西宮市	49.5	47	府中市	45.6
8	熊本市	49.5	48	富山市	45.6
9	前橋市	49.0	49	沼津市	45.5
10	浜松市	49.0	50	茅ヶ崎市	45.5
11	長野市	48.9	51	山口市	45.4
12	豊橋市	48.8	52	名古屋市長	45.4
13	金沢市	48.8	53	八王子市	45.3
14	静岡市	48.4	54	宝塚市	45.3
15	長崎市	48.3	55	高松市	45.2
16	鹿児島市	48.3	56	岡山市	45.1
17	豊田市	48.1	57	鳥取市	44.7
18	三鷹市	47.8	58	津市	44.7
19	神戸市	47.8	59	富士市	44.6
20	吹田市	47.7	60	千葉市長	44.6
21	横浜市	47.6	61	明石市長	44.6
22	大分市長	47.6	62	鎌倉市長	44.5
23	佐賀市長	47.5	63	新潟市長	44.5
24	松山市	47.3	64	厚木市長	44.5
25	奈良市長	47.2	65	福島市長	44.3
26	豊中市	47.1	66	秋田市長	44.3
27	東広島市長	46.8	67	立川市長	44.2
28	久留米市長	46.7	68	小田原市長	44.1
29	高槻市長	46.6	69	大津市長	44.0
30	盛岡市長	46.5	70	安城市	44.0
31	茨木市長	46.5	71	相模原市長	44.0
32	高崎市長	46.4	72	下関市長	43.8
33	松江市	46.4	73	郡山市	43.7
34	岡崎市長	46.4	74	所沢市長	43.7
35	甲府市長	46.3	75	調布市長	43.7
36	札幌市長	46.3	76	那覇市長	43.6
37	佐世保市長	46.3	77	水戸市長	43.6
38	京都市	46.1	78	四日市市長	43.3
39	藤沢市長	46.0	79	呉市長	43.3
40	つくば市長	46.0	80	枚方市長	43.3

81 函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,いわき市,日立市,宇都宮市,伊勢崎市,太田市,さいたま市,川崎市,熊谷市,川口市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,川崎市,横須賀市,平塚市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,一宮市,春日井市,鈴鹿市,宇治市,大阪市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,姫路市,尼崎市,伊丹市,加古川市,和歌山市,倉敷市,福山市,徳島市

(市区町村コード順)



観光客

指標数33/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	京都市	53.7	41	山口市	29.0
2	大阪市	51.3	42	府中市	28.9
3	横浜市	48.6	43	鳥取市	28.9
4	福岡市	44.5	44	弘前市	28.5
5	神戸市	44.5	45	岡山市	28.4
6	名古屋市	39.1	46	宝塚市	28.4
7	札幌市	38.8	47	つくば市	28.3
8	広島市長	38.6	48	川崎市長	28.1
9	金沢市長	37.8	49	下関市長	28.1
10	仙台市長	36.6	50	さいたま市長	28.1
11	松本市	35.6	51	藤沢市長	28.1
12	奈良市長	35.5	52	岐阜市長	27.9
13	長崎市長	34.8	53	立川市長	27.7
14	那覇市長	34.5	54	青森市長	27.7
15	静岡市長	34.1	55	久留米市長	27.5
16	鎌倉市長	34.1	56	調布市長	27.4
17	北九州市	33.1	57	三鷹市長	27.3
18	函館市長	32.7	58	甲府市長	27.1
19	浜松市長	32.7	59	呉市長	27.1
20	鹿児島市長	32.1	60	水戸市長	27.1
21	千葉市長	31.7	61	高槻市長	27.0
22	長野市長	31.4	62	和歌山市	27.0
23	松山市	31.3	63	豊田市長	27.0
24	盛岡市長	31.2	64	佐賀市長	27.0
25	高松市長	31.1	65	秋田市長	27.0
26	熊本市	31.1	66	川越市長	26.9
27	出雲市長	30.8	67	茅ヶ崎市長	26.9
28	姫路市長	30.5	68	東広島市長	26.9
29	西宮市長	30.2	69	釧路市長	26.8
30	松江市	30.1	70	明石市長	26.8
31	小田原市長	30.1	71	宇治市長	26.8
32	宮崎市長	30.1	72	福井市長	26.6
33	新潟市長	29.8	73	八王子市長	26.5
34	大分市長	29.5	74	山形市長	26.5
35	佐世保市長	29.4	75	吹田市長	26.4
36	大津市長	29.3	76	福島市長	26.3
37	高知市長	29.3	77	長岡市長	26.1
38	倉敷市長	29.2	78	沼津市長	26.0
39	横須賀市長	29.0	79	いわき市長	25.9
40	富山市	29.0	80	豊橋市長	25.8

81 旭川市,苫小牧市,八戸市,郡山市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,熊谷市,川口市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市川市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八千代市,町田市,小平市,日野市,西東京市,相模原市,平塚市,厚木市,大和市,上越市,高岡市,富士市,岡崎市,一宮市,春日井市,豊川市,安城市,津市,四日市市長,鈴鹿市,堺市,岸和田市,豊中市,枚方市,茨木市,八尾市,寝屋川市,和泉市,東大阪市,尼崎市,伊丹市,加古川市,福山市,徳島市

(市区町村コード順)

アクター別スコア

Actor-Specific Scores



経営者

指標数36/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	54.9	41	小平市	25.8
2	名古屋市	44.5	42	豊橋市	25.6
3	福岡市	42.2	43	藤沢市	25.6
4	横浜市	39.5	44	姫路市	25.4
5	京都市	37.2	45	長野市	25.3
6	神戸市	36.6	46	高槻市	25.3
7	札幌市	32.7	47	新潟市	25.3
8	豊田市	32.2	48	船橋市	25.2
9	仙台市	31.1	49	柏市	25.2
10	川崎市	30.5	50	鈴鹿市	25.2
11	安城市	30.0	51	高松市	25.1
12	広島市	29.6	52	松山市	25.0
13	金沢市	29.5	53	日野市	24.9
14	三鷹市	29.2	54	富山市	24.9
15	つくば市	28.7	55	流山市	24.9
16	吹田市	28.4	56	宮崎市	24.7
17	さいたま市	28.2	57	熊本市	24.6
18	四日市市	28.1	58	西東京市	24.6
19	浜松市	28.0	59	宇都宮市	24.6
20	静岡市	28.0	60	小田原市	24.6
21	西宮市	27.8	61	津市	24.6
22	松本市	27.8	62	一宮市	24.5
23	東広島市	27.7	63	山口市	24.4
24	岡山市	27.6	64	盛岡市	24.4
25	府中市	27.5	65	伊丹市	24.4
26	豊中市	27.5	66	春日井市	24.4
27	立川市	27.3	67	川口市	24.4
28	調布市	27.2	68	八千代市	24.3
29	岐阜市	27.1	69	枚方市	24.2
30	大津市	26.9	70	福島市	24.2
31	茨木市	26.8	71	宝塚市	24.1
32	厚木市	26.8	72	福井市	24.0
33	市川市	26.8	73	那覇市	24.0
34	岡崎市	26.8	74	相模原市	23.9
35	千葉市	26.3	75	郡山市	23.9
36	福山市	26.2	76	松戸市	23.8
37	豊川市	26.2	77	佐賀市	23.8
38	鹿児島市	26.1	78	佐倉市	23.8
39	北九州市	25.9	79	町田市	23.8
40	八王子市	25.8	80	富士市	23.7

81 函館市,旭川市,釧路市,苫小牧市,青森市,弘前市,八戸市,秋田市,山形市,いわき市,水戸市,日立市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,市原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,茅ヶ崎市,大和市,長岡市,上越市,高岡市,甲府市,沼津市,宇治市,堺市,岸和田市,八尾市,寝屋川市,和泉市,138 東大阪市,尼崎市,明石市,加古川市,奈良市,和歌山市,鳥取市,松江市,出雲市,倉敷市,呉市,下関市,徳島市,高知市,久留米市,長崎市,佐世保市,大分市

(市区町村コード順)



従業者

指標数19/86

順位	都市名	スコア	順位	都市名	スコア
1	大阪市	50.5	41	長野市	29.8
2	名古屋市	40.7	42	津市	29.6
3	福岡市	38.8	43	松山市	29.6
4	京都市	38.0	44	鳥取市	29.6
5	横浜市	35.6	45	川口市	29.5
6	広島市	34.7	46	宮崎市	29.4
7	神戸市	33.2	47	八千代市	29.1
8	川崎市	33.0	48	山形市	29.0
9	金沢市	33.0	49	高岡市	28.8
10	豊中市	32.6	50	調布市	28.8
11	安城市	31.8	51	東大阪市	28.8
12	松本市	31.8	52	つくば市	28.8
13	静岡市	31.8	53	下関市	28.7
14	三鷹市	31.7	54	札幌市	28.6
15	岐阜市	31.7	55	さいたま市	28.6
16	久留米市	31.6	56	堺市	28.6
17	鹿児島市	31.6	57	高槻市	28.4
18	富山市	31.6	58	市川市	28.4
19	福井市	31.3	59	豊橋市	28.3
20	東広島市	31.3	60	茨木市	28.2
21	佐賀市	31.2	61	府中市	28.1
22	西宮市	31.2	62	奈良市	28.1
23	尼崎市	31.1	63	秋田市	27.9
24	松江市	31.1	64	立川市	27.9
25	千葉市	31.1	65	豊川市	27.7
26	新潟市	30.8	66	長岡市	27.6
27	高知市	30.7	67	豊田市	27.6
28	一宮市	30.7	68	四日市市	27.4
29	盛岡市	30.6	69	福山市	27.3
30	岡山市	30.4	70	倉敷市	27.2
31	北九州市	30.4	71	呉市	27.2
32	高松市	30.3	72	浜松市	27.1
33	伊丹市	30.2	73	福島市	26.9
34	函館市	30.1	74	甲府市	26.9
35	山口市	30.1	75	春日井市	26.7
36	吹田市	30.0	76	西東京市	26.7
37	仙台市	29.9	77	徳島市	26.6
38	出雲市	29.9	78	青森市	26.6
39	熊本市	29.9	79	長崎市	26.6
40	弘前市	29.9	80	姫路市	26.6

旭川市,釧路市,苫小牧市,八戸市,都山市,いわき市,水戸市,日立市,宇都宮市,前橋市,高崎市,伊勢崎市,太田市,川越市,熊谷市,所沢市,春日部市,上尾市,草加市,越谷市,船橋市,松戸市,佐倉市,柏市,市原市,流山市,八王子市,町田市,小平市,日野市,相模原市,横須賀市,平塚市,鎌倉市,藤沢市,小田原市,茅ヶ崎市,厚木市,大和市,上越市,沼津市,富士市,岡崎市,鈴鹿市,大津市,宇治市,岸和田市,枚方市,八尾市,寝屋川市,和泉市,明石市,加古川市,宝塚市,和歌山市,佐世保市,大分市,那覇市

(市区町村コード順)

合計スコアの上位3区について、分野別および指標グループ別レーダーチャート(偏差値は東京23区内で算出)を用いてそれぞれの強みや魅力を分析した。

1 千代田区

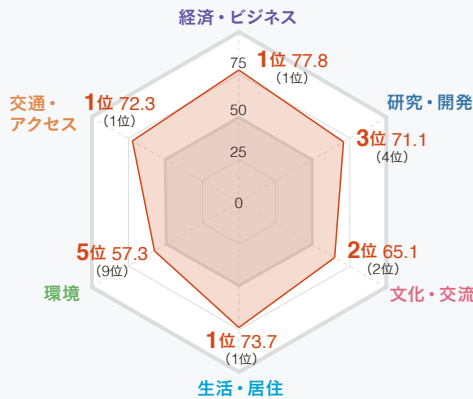
CHIYODA-CITY



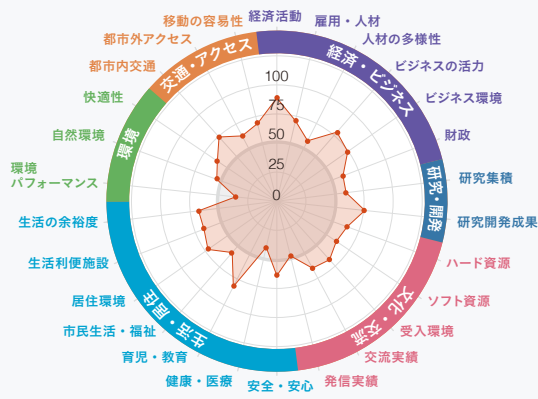
多様な機能を有する居住性の高い都市

東京23区の中心に位置し、官公庁やオフィスが集積し、多様な機能を有する千代田区は全ての分野で高評価を得た。特に、**経済・ビジネス**、**生活・居住**、**交通・アクセス**は対象23区の中で最も高い評価を獲得している。付加価値額で23区中最も高い評価を得るなど経済力で他区に差をつけていることに加え、保育ニーズの充足度や子どもの医療費支援など居住者にも優しい街づくりが推進されており、居住性も高い都市といえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



2 港区

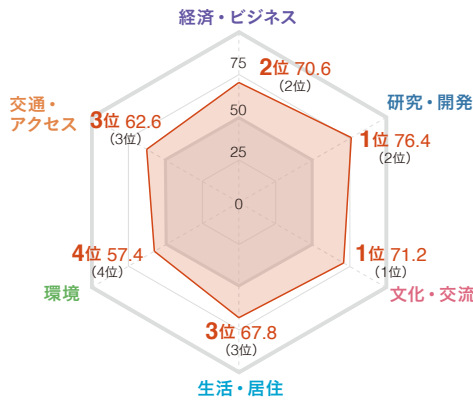
MINATO-CITY



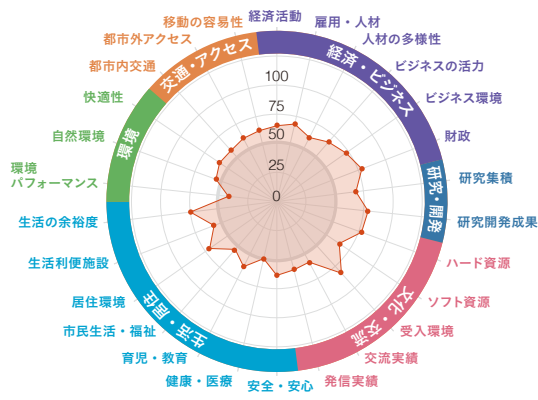
住みやすさという魅力をさらに高めた国際生活都市

全ての分野において高い評価を得ている国際性豊かな港区は、**研究・開発**、**生活・居住**、**環境**の3つの分野でさらにスコアを伸ばした。**研究・開発**では新規指標の特許取得数で高い評価を獲得するとともに、グローバルニッチトップ企業数や論文投稿数もスコアを伸ばした。**生活・居住**では電子自治体推進度の評価が高く、行政のデジタル化が進んでいることがうかがえる。また、**環境**の「快適性」における街路の清潔さの評価も高いことから、経済や文化の魅力のみならず、住みやすさも兼ね備えていることがわかる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



3 中央区

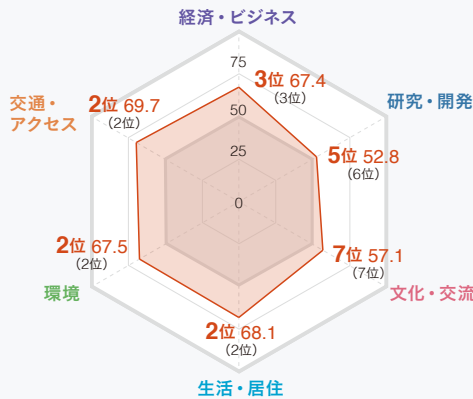
CHUO-CITY



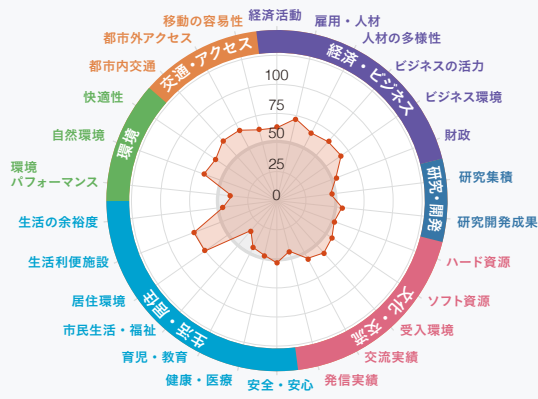
優れた生活環境と強い経済力を誇る多機能型都市

全分野においてバランスよく高得点を維持している中央区は、**環境**の「快適性」における街路の清潔さで高い評価を得た。また、**生活・居住**においては「育児・教育」の合計特殊出生率が向上していることから、子ども・子育て支援施策の成果がみられる。**経済・ビジネス**においては「経済活動」や「ビジネスの活力」が特に伸びており、その経済力の強さがうかがえる。**研究・開発**は他の分野に比べるとやや低い水準であるが、新規指標の特許取得数などは高評価を得ており、今後のさらなる成長が期待できる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の偏差値



138
都市
アクター別スコア
／東京23区
結果・分析

分野別スコア

Function-Specific Scores



経済・ビジネス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	448.9
2	港区	394.8
3	中央区	371.3
4	渋谷区	311.3
5	新宿区	293.1
6	品川区	255.3
7	目黒区	251.1
8	文京区	246.3
9	豊島区	237.1
10	江東区	235.6
11	台東区	225.6
12	世田谷区	214.9
13	杉並区	209.6
14	中野区	206.9
15	墨田区	204.8
16 23	大田区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



研究・開発

順位	都市名	スコア
1	港区	86.1
2	文京区	74.2
3	千代田区	73.1
4	新宿区	53.8
5	中央区	27.6
6	目黒区	20.6
7	世田谷区	17.9
8	江東区	16.5
9	渋谷区	16.4
10	品川区	13.6
11	豊島区	13.5
12	大田区	13.2
13	板橋区	8.2
14	荒川区	6.0
15	台東区	5.3
16 23	墨田区, 中野区, 杉並区, 北区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



文化・交流

順位	都市名	スコア
1	港区	216.7
2	千代田区	185.9
3	渋谷区	180.7
4	新宿区	170.1
5	台東区	164.5
6	江東区	158.2
7	中央区	145.6
8	文京区	141.6
9	墨田区	126.2
10	豊島区	119.5
11	品川区	114.4
12	世田谷区	91.6
13	目黒区	84.4
14	大田区	78.0
15	葛飾区	75.5
16 23	中野区, 杉並区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



生活・居住

順位	都市名	スコア
1	千代田区	403.1
2	中央区	377.3
3	港区	376.2
4	文京区	345.6
5	渋谷区	335.4
6	新宿区	324.0
7	目黒区	300.4
8	世田谷区	295.0
9	豊島区	294.0
10	台東区	291.8
11	品川区	291.1
12	板橋区	284.6
13	杉並区	284.2
14	練馬区	281.0
15	墨田区	274.3
16 23	江東区, 大田区, 中野区, 北区, 荒川区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	



環境

順位	都市名	スコア
1	江東区	142.7
2	中央区	136.5
3	江戸川区	128.5
4	港区	122.0
5	千代田区	121.8
6	品川区	120.3
7	世田谷区	118.8
8	文京区	118.5
9	杉並区	118.4
10	練馬区	116.6
11	北区	112.2
12	大田区	111.3
13	墨田区	108.7
14	荒川区	108.0
15	葛飾区	106.8
16 23	新宿区, 台東区, 目黒区, 渋谷区, 中野区, 豊島区, 板橋区, 足立区 (市区町村コード順)	



交通・アクセス

順位	都市名	スコア
1	千代田区	207.6
2	中央区	202.6
3	港区	188.8
4	渋谷区	182.5
5	品川区	179.2
6	江東区	177.2
7	台東区	176.6
8	新宿区	176.1
9	文京区	170.8
10	大田区	169.8
11	江戸川区	163.9
12	豊島区	161.3
13	目黒区	161.1
14	墨田区	156.0
15	荒川区	155.5
16 23	世田谷区, 中野区, 杉並区, 北区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区 (市区町村コード順)	

合計スコア

順位	都市名	スコア
1	千代田区	1,440.2
2	港区	1,384.6
3	中央区	1,261.0
4	渋谷区	1,125.4
5	新宿区	1,108.5
6	文京区	1,097.1
7	江東区	990.7
8	品川区	973.9
9	台東区	964.7
10	目黒区	923.2
11	豊島区	904.6
12	世田谷区	885.3
13	墨田区	873.7
14	大田区	828.0
15	杉並区	823.2
16 23	中野区, 北区, 荒川区, 板橋区, 練馬区, 足立区, 葛飾区, 江戸川区 (市区町村コード順)	

アクター別スコア

Actor-Specific Scores

分野別に加え、都市の特性を「人」の視点で評価するために、本調査では「アクター」(シングル、ファミリー、シニア、観光客、経営者、従業者)を6設定した。アクター別スコアの算出のために、まずは各アクターが都市に求めるニーズを設定し、次に、86指標の中からそのニーズに対応した指標を抽出し、その平均値をスコアとした。



シングル 指標数23/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	60.6
2	中央区	60.2
3	港区	56.8
4	文京区	51.0
5	渋谷区	50.8
6	品川区	48.1
7	新宿区	48.0
8	目黒区	47.3
9	台東区	47.3
10	豊島区	45.2
11	世田谷区	43.6
12	杉並区	43.6
13	板橋区	43.5
14	江東区	42.1
15	墨田区	42.0
16 23	大田区,中野区,北区,荒川区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



ファミリー 指標数40/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	54.7
2	中央区	54.3
3	港区	53.7
4	文京区	49.0
5	渋谷区	47.3
6	新宿区	45.4
7	品川区	45.2
8	目黒区	44.1
9	江東区	43.6
10	世田谷区	43.2
11	台東区	43.1
12	杉並区	41.9
13	墨田区	41.5
14	豊島区	41.0
15	板橋区	41.0
16 23	大田区,中野区,北区,荒川区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



シニア 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	58.7
2	中央区	56.9
3	港区	54.2
4	文京区	52.4
5	渋谷区	49.0
6	品川区	47.6
7	新宿区	47.4
8	目黒区	46.6
9	台東区	46.2
10	江東区	45.6
11	杉並区	44.8
12	世田谷区	44.7
13	墨田区	44.5
14	板橋区	43.3
15	練馬区	43.2
16 23	大田区,中野区,豊島区,北区,荒川区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



観光客 指標数33/86

順位	都市名	スコア
1	港区	48.0
2	千代田区	47.3
3	中央区	46.2
4	渋谷区	40.3
5	江東区	39.6
6	台東区	38.7
7	新宿区	38.2
8	文京区	37.0
9	品川区	34.6
10	墨田区	32.1
11	豊島区	30.0
12	世田谷区	29.4
13	目黒区	28.8
14	江戸川区	28.2
15	大田区	28.2
16 23	中野区,杉並区,北区,荒川区,板橋区,練馬区, 足立区,葛飾区 (市区町村コード順)	



経営者 指標数36/86

順位	都市名	スコア
1	千代田区	67.8
2	港区	63.1
3	中央区	55.5
4	渋谷区	47.3
5	新宿区	46.1
6	文京区	41.0
7	品川区	40.0
8	江東区	39.8
9	目黒区	38.2
10	豊島区	37.9
11	台東区	35.8
12	世田谷区	33.2
13	大田区	32.7
14	中野区	32.5
15	杉並区	32.4
16 23	墨田区,北区,荒川区,板橋区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	



従業者 指標数19/86

順位	都市名	スコア
1	中央区	67.4
2	千代田区	65.3
3	港区	58.5
4	渋谷区	53.2
5	新宿区	52.6
6	台東区	50.3
7	品川区	45.6
8	豊島区	45.4
9	文京区	44.8
10	目黒区	43.0
11	墨田区	41.4
12	江東区	40.4
13	荒川区	40.0
14	大田区	38.6
15	中野区	37.7
16 23	世田谷区,杉並区,北区,板橋区,練馬区,足立区, 葛飾区,江戸川区 (市区町村コード順)	

新型コロナウイルス感染症流行前後の 就業・就学状況について

新型コロナウイルス感染症の流行により在宅勤務が推奨される中、JPC-2021の対象都市においてはどの程度在宅勤務が行われているのかについて明らかにするために、2021年3月にアンケート調査を実施した。

アンケート調査は、対象都市に住む300人を対象に実施し、新型コロナウイルス感染症流行前と流行後に、「就業・就学先に出向いている」か、「自宅で働いている・学んでいる」か、「就業・就学先、自宅ともに同程度の割合で働いている・学んでいる」かを聞いた。

その結果、在宅勤務の実態は都市や地域ごとに傾向が異なることが明らかになった。東京23区においては、新型コロナウイルス感染症流行後には、「自宅で働いている・学んでいる」、「就業・就学先、自宅ともに同程度の割合」が他の都市と比べて

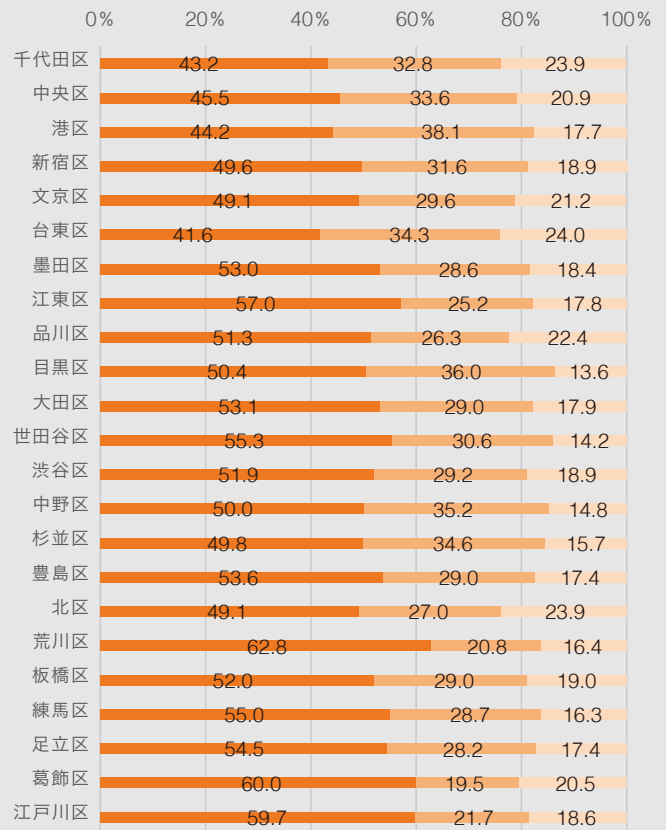
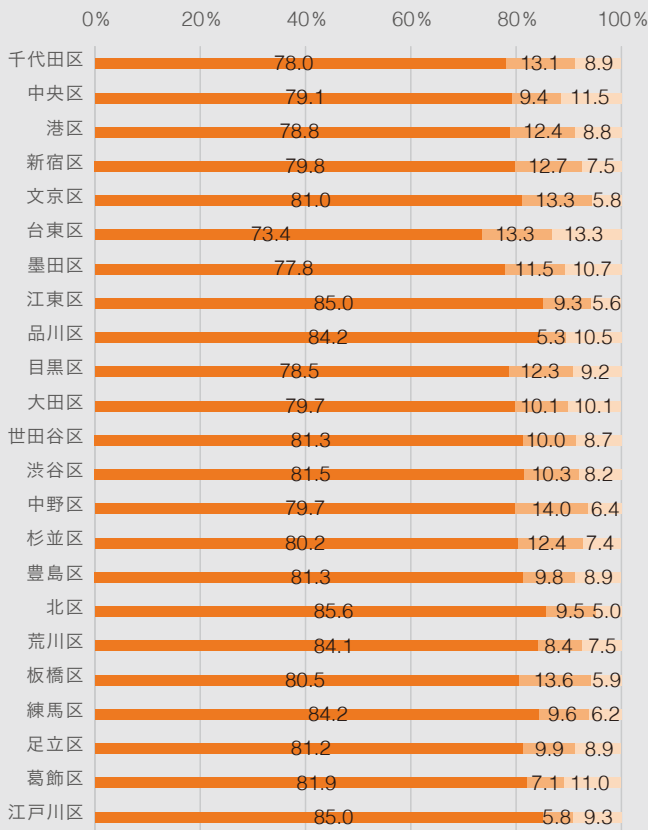
大きく増加していることが分かる。また、所沢市や市川市、川崎市などの首都圏内の都市についても、東京23区ほどではないものの、その割合が大きくなっていることから、首都圏においては在宅勤務が進んでいることが明らかになった。一方、関西圏においては、首都圏ほど在宅勤務は普及しておらず、また、八戸市や山口市といった地方の大都市以外の中核都市においては「自宅で働いている・学んでいる」割合は若干増えているものの新型コロナウイルス感染症の流行前と大きく変わっていない。

当アンケート調査の結果より、在宅勤務の割合は、首都圏、特に東京23区で大きく増えており、関西圏や地方大都市はやや増加傾向、地方の中核都市においてはわずかに増加している程度であることが明らかになった。

新型コロナウイルス感染症 流行前

新型コロナウイルス感染症 流行後

[東京23区]

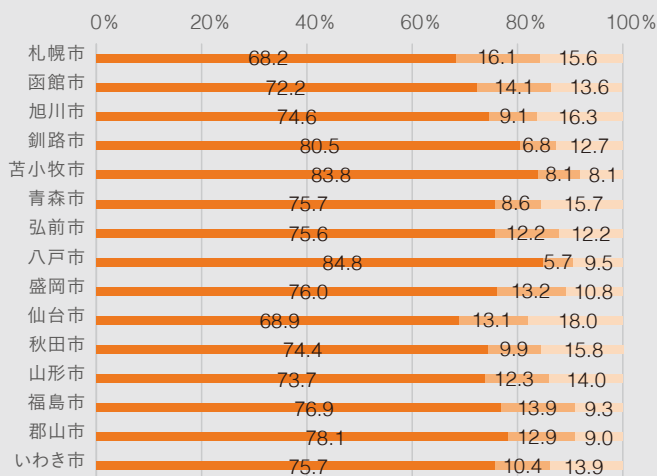
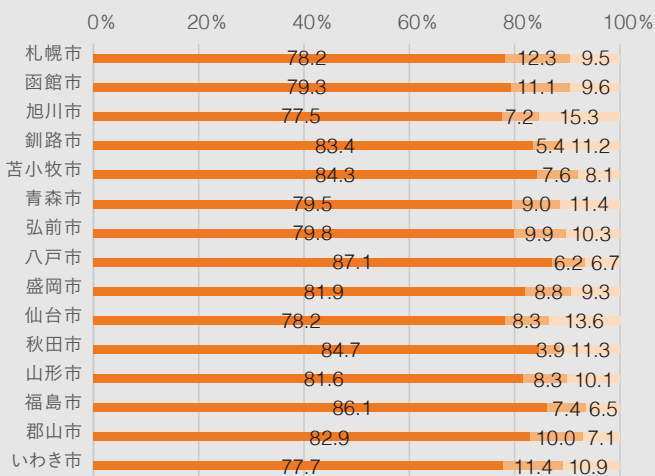


■ 就業・就学先に出向いている ■ 自宅で働いている/学んでいる ■ 就業・就学先、自宅ともに同程度の割合

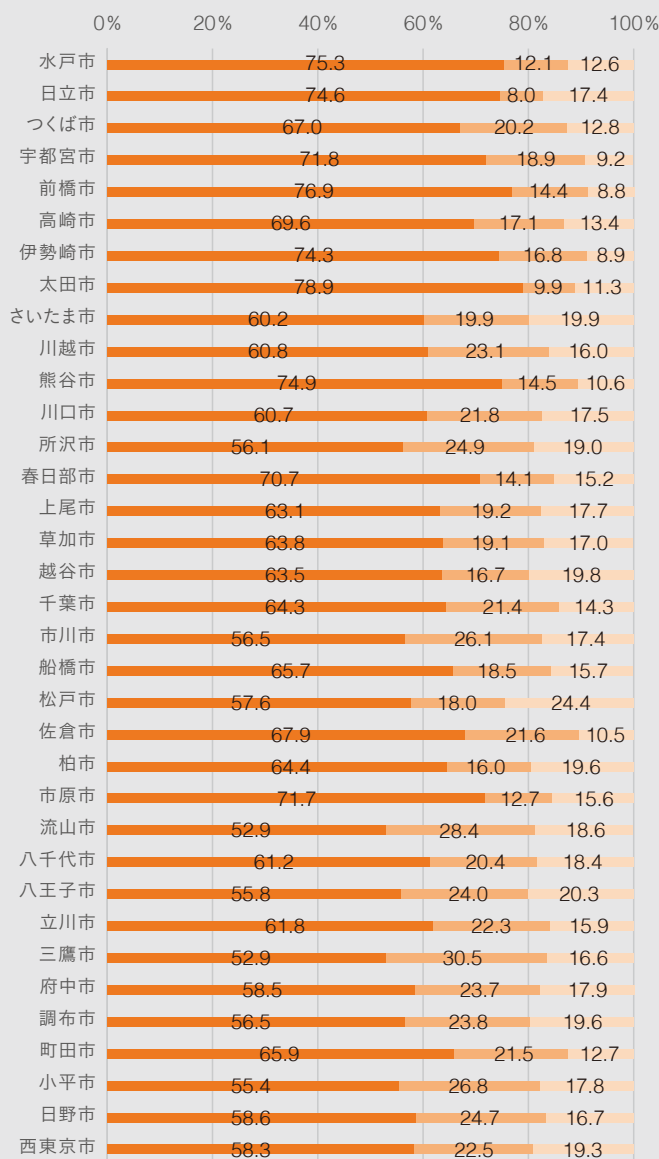
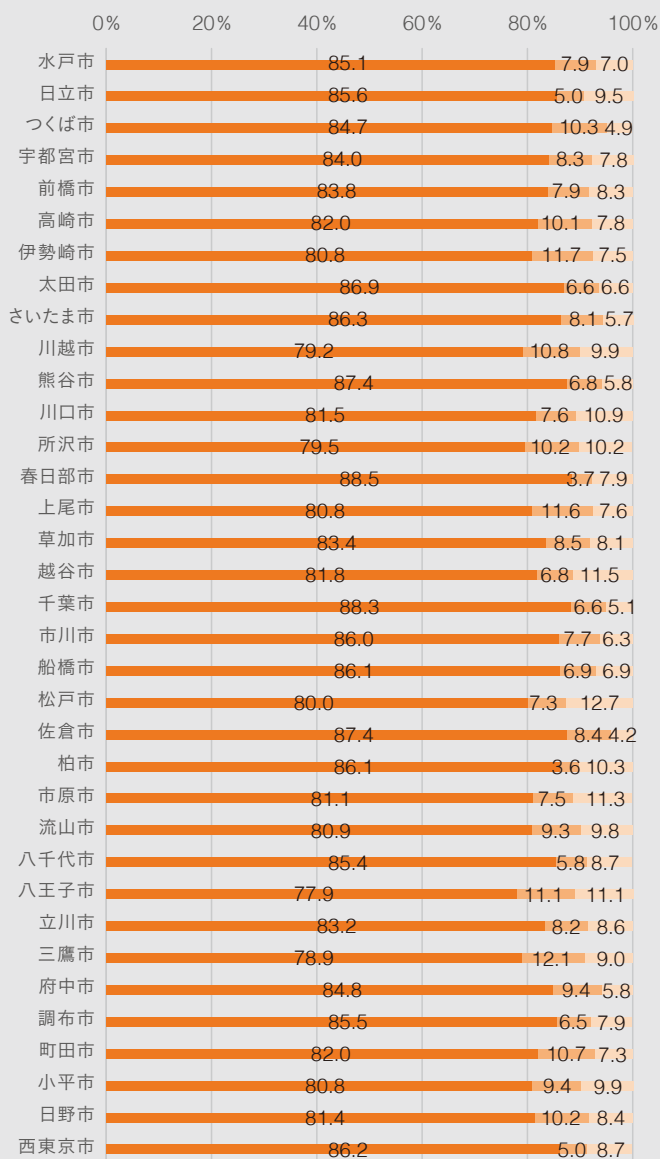
新型コロナウイルス感染症 流行前

新型コロナウイルス感染症 流行後

[北海道・東北]

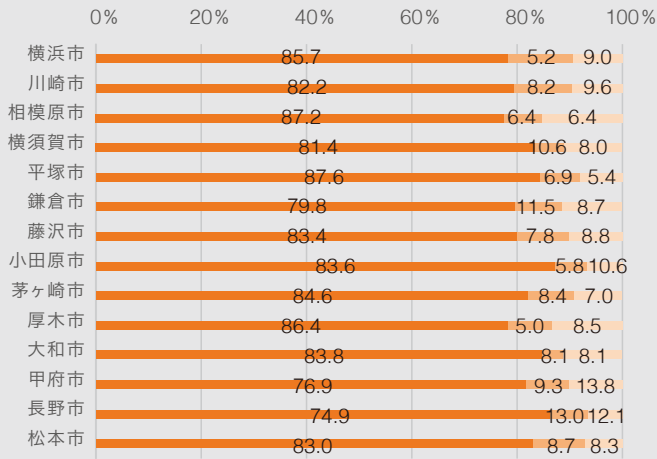


[関東]

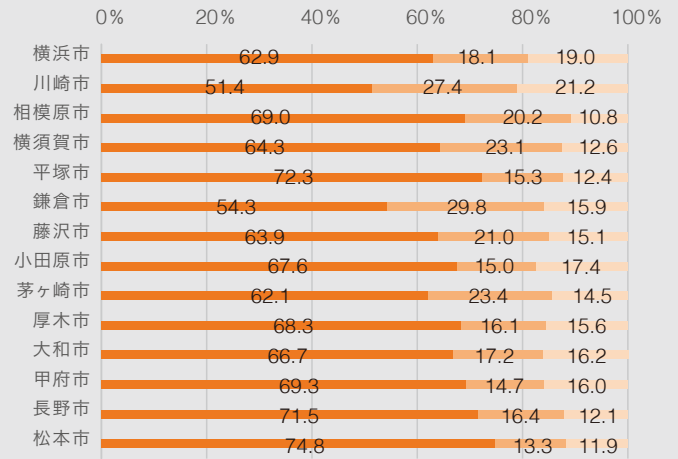


■ 就業・就学先に出向いている ■ 自宅で働いている/学んでいる ■ 就業・就学先、自宅ともに同程度の割合

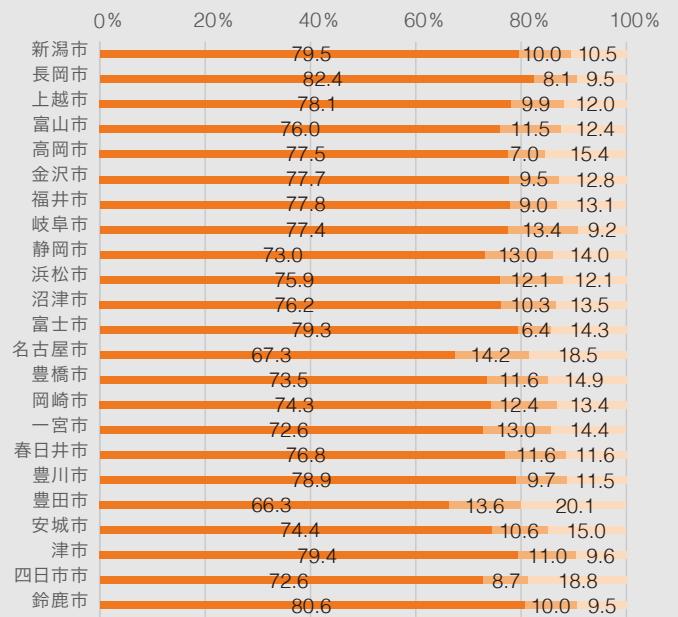
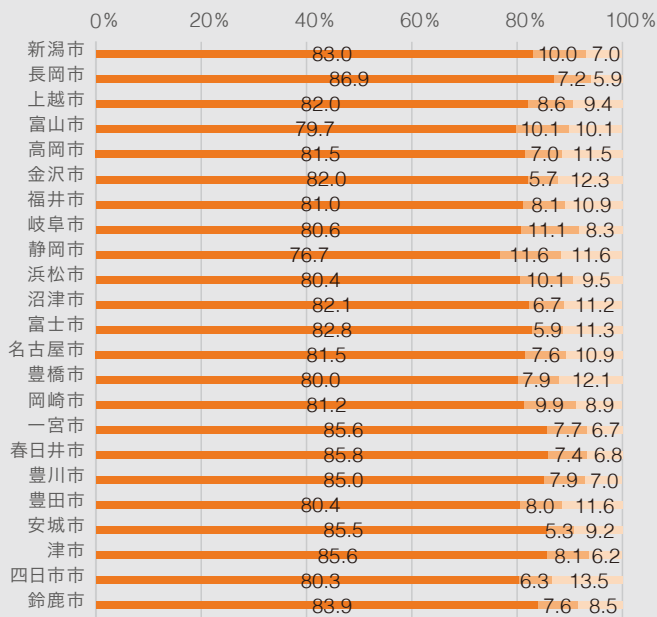
新型コロナウイルス感染症 流行前



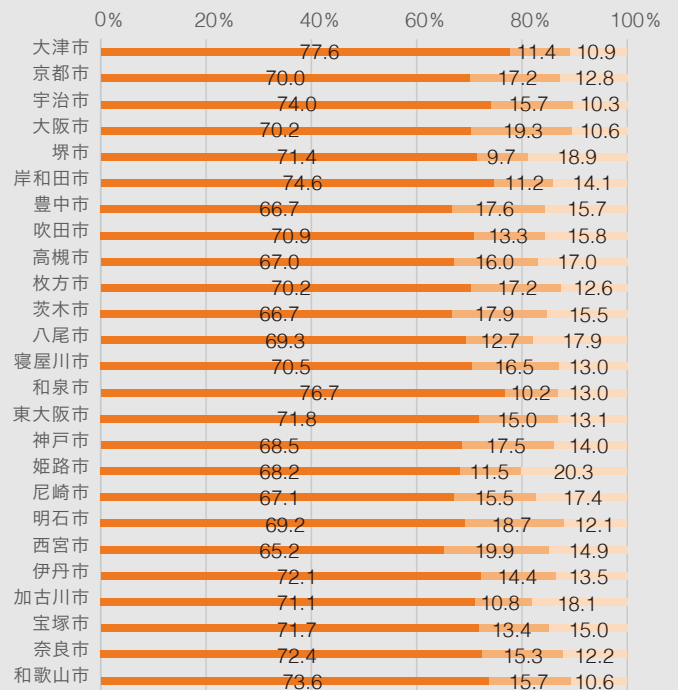
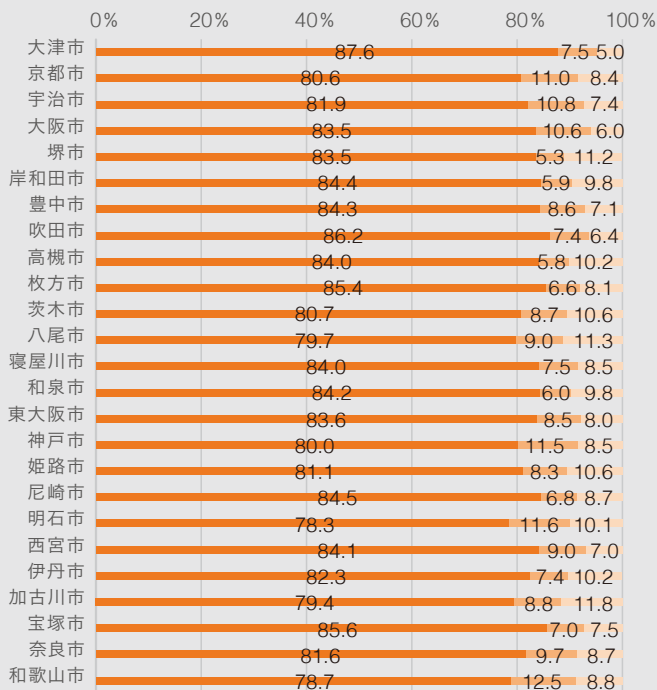
新型コロナウイルス感染症 流行後



【北陸・東海】



【近畿】

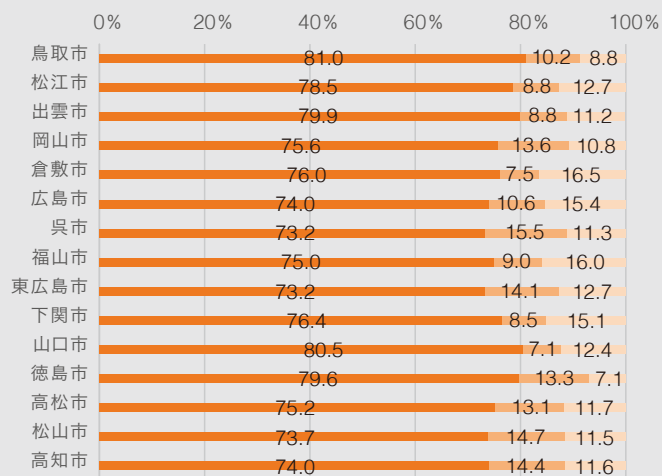
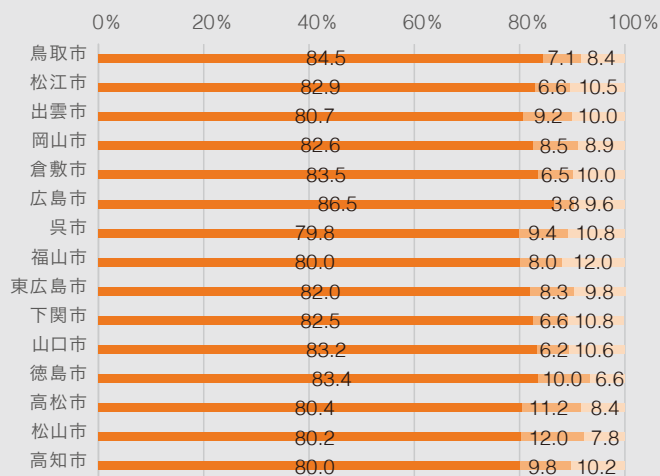


■ 就業・就学先に向いている ■ 自宅働いている/学んでいる ■ 就業・就学先、自宅ともに同程度の割合

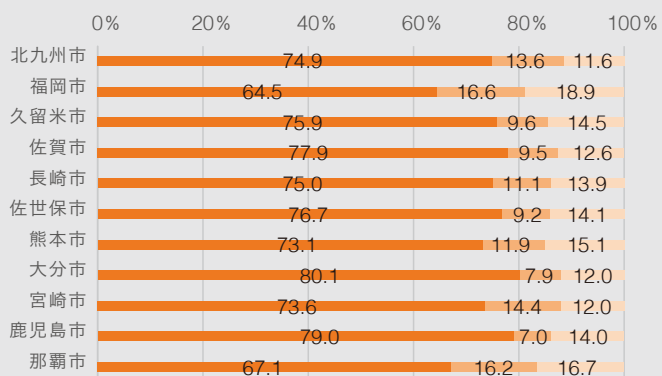
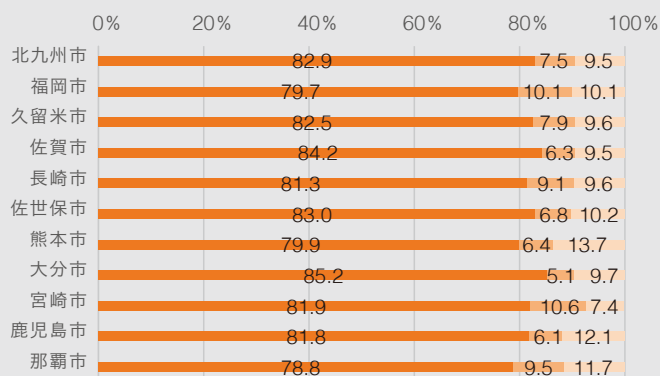
新型コロナウイルス感染症流行前

新型コロナウイルス感染症流行後

[中国・四国]



[九州・沖縄]



■ 就業・就学先に出向いている
 ■ 自宅で働いている/学んでいる
 ■ 就業・就学先、自宅ともに同程度の割合

<アンケート調査概要>

- 調査方法：インターネット調査
 - 回答者：20歳以上の対象161都市の居住者
 - 有効回収数：計34,183人
 - 調査時期：2021年3月
 - 調査実施会社：株式会社サーベイリサーチセンター
- 設 問：新型コロナウイルス感染症流行前後の主たる就業・就学先についてご選択ください。
 - 選 択 肢：1. 就業・就学先に出向いている
2. 自宅で働いている/学んでいる
3. 就業・就学先、自宅ともに同程度の割合

指標の定義

Definitions of Indicators

指標は、統計資料などにもとづく定量データ(計81指標)および森記念財団が実施した居住者アンケート(計6指標)を用いて設定した。データの取得方法の概要は以下の(1)および(2)の通りである。

(1) 統計資料などにもとづく定量データ(計81指標)

- ・可能な限り、公的な統計資料からデータを取得する
- ・公的な統計によらないデータについては、出典が明確なものを採用する
- ・データの取得期間は、2021年1月～4月

(2) 居住者アンケート(計6指標)

- ・調査方法: インターネット調査
- ・回答者: 20歳以上の対象161都市の居住者
- ・有効回収数: 計48,300人(各都市300人)。
男女比は1:1、年代は20歳～59歳と60歳以上の比率を概ね6:4とした。
- ・調査時期: 2021年3月
- ・調査実施会社: 株式会社サーベイリサーチセンター

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
経済・ビジネス	経済活動	1	付加価値額	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典:総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」再編加工)。
		2	地域内総支出	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「総支出(地域内ベース)」(出典:環境省「地域産業連関表」「地域経済計算」)。
		3	昼夜間人口比率	総務省統計局「国勢調査結果」における昼夜間人口比率(常住人口100人あたりの従業地・通学地による人口の割合)。
	雇用・人材	4	従業者数	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「産業(中分類)別民間事業所数、従業上の地位(6区分)、男女別従業者数、出向・派遣従業者数及び1事業所当たり従業者数—都道府県、市区町村」に掲載されている「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))。
		5	賃金水準	総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」における「給与総額」と「福利厚生費総額」の合計を、「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))で除して算出した値。
		6	高等教育修了者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「産業等基本集計(労働力状態、就業者の産業など)」に掲載されている高等教育修了者(「卒業者 短大・高专」「卒業者 大学・大学院」)を総務省統計局「国勢調査結果」の18歳以上人口で除した値。なお、専門学校卒業者はその修業年限によって、上記どちらかに区分される。
		7	若手人材の転入出	総務省統計局「国勢調査結果」における平成17年時点の高等教育機関へ入学する前の世代(15～19歳)の人口と、「国勢調査結果」における平成27年時点の高等教育を修了した世代(25～29歳)の人口の増減の比。
	人材の多様性	8	女性就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15～64歳の女性就業者数を、同調査に掲載されている15～64歳総就業者数で除して算出した値。
		9	外国人就業者割合	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている15歳以上外国人就業者数を、同調査における15歳以上就業者数で除して算出した値。掲載がない都市は、各都道府県労働局に掲載されている数を用いて、該当局にも掲載がない都市は外国人人口を用いて推計した。
		10	高齢者就業率	総務省統計局「国勢調査結果」の「就業状態等基本集計(労働力状態、就業者の産業・職業など)」に掲載されている65歳以上就業者数を、同調査に掲載されている65歳以上人口で除して算出した値。
	ビジネスの活力	11	新規設立法人登記割合	国税庁「法人番号公表サイト」に掲載の各都市の総法人数のうち、2020年に新たに法人番号が指定された法人数の割合。
		12	労働生産性	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「付加価値額(企業単位)」(出典:総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査結果」再編加工)を、総務省統計局の「経済センサス-活動調査結果」に掲載されている「事業所に関する集計」における「従業者数」(A～R 全産業(S公務を除く))で除して算出した値。
		13	完全失業率	総務省統計局「国勢調査結果」における完全失業者数を労働力人口で除した値。
	ビジネス環境	14	特区制度認定地域数	内閣府地方創生推進事務局において「国家戦略特区」に認定された事業数および「総合特区」、「構造改革特区」の特区数をそれぞれ指数化し、合算した値。(なお、都道府県レベルで認定されたものは、0.5の重みづけを行った)。
		15	対事業所サービス従業者割合	森記念財団都市戦略研究所が独自に定義した「対事業所サービス業」をもとに、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類25を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該25小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A～R全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		16	新規不動産業用建築物供給面積	国土交通省「建築着工統計調査報告」過去3年における「建築物:市区町村別、用途別(大分類)」のうちの「L 不動産業用建築物」の床面積の平均値をスコアとしている。
		17	フレキシブル・ワークプレイス密度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「参考表4 産業(小分類)別全事業所数—全国、都道府県、市区町村」に掲載されている「喫茶店数」を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値、(2)株式会社エググレイ「コワーキングジャパン」に掲載されているコワーキングスペース数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除した値。
	財政	18	財政力指数	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「財政力指数」。 東京23区は、東京都総務局行政部「特別区普通会計決算」に掲載されている「財政力指数」。
		19	経常収支比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「経常収支比率」。
		20	実質公債費比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「実質公債費比率」。
		21	将来負担比率の低さ	総務省統計局「市町村別決算状況調」に掲載されている「将来負担比率」。 東京23区は、東京都総務局行政部「決算に基づく健全化判断比率」における「将来負担比率」。

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
研究・開発	研究集積	22	学術・開発研究機関従業者割合	総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「事業所に関する集計」に掲載されている「学術・開発研究機関」の「従業者数」を、「従業者数」(A~R 全産業(S公務を除く))で除して算出した割合。
		23	トップ大学数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)株式会社ベネッセコーポレーション「THE世界大学ランキング 日本版」における上位150の大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値、(2)Times Higher Educationの「World University Rankings」に掲載されている大学について、当該ランキングで定める総合スコアを大学キャンパス数で除して指数化した値。
	研究開発成果	24	論文投稿数	文部科学省 科学技術・学術政策研究所の「研究論文に着目した日英独の大学ベンチマーキング」に掲載されている、2008-2017年の総論文数が500件以上の日本の188大学、および同研究所の「サイエンスマップ報告書」に掲載されている個別国立研究開発法人等を対象に、国立情報学研究所の「CiNii Articles」で検索し表示される2017-2019年の1年あたりの平均の論文投稿数を合計した数値。複数拠点がある場合は、その平均値を拠点数で按分し推計した。
		25	グローバルニッチトップ企業数	経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選(GNT企業100選)選定企業一覧」に掲載されている企業の本社、営業所、事業所などを合算した値。
		26	特許取得数	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「特許分布図」(出典:特許庁「特許情報」)に掲載されている特許情報のうち、過去5年間に取得された件数。
		27	観光地の数・評価	「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「名所・観光スポット」、「自然・公園」、「アウトドア」、「美術館・博物館」、「動物園・水族館」、「レジャー施設」、「コンサート・ショー」、「遊園地・テーマパーク」の8カテゴリーの観光地数と口コミ数(ただし、観光ソフト資源と思われる項目を除外)をそれぞれ指数化し合算した値。
ハード資源	28	文化財指定件数	文化庁「国指定文化財等データベース」および「世界遺産(文化遺産)一覧」に掲載されている建造物、風景、特定のエリアに指定された文化財において、以下の通り文化財の種類に応じて重みづけをした値の合算値:世界遺産(3点)、国宝・特別史跡・特別名勝・重要伝統的建造物群保存地区(2点)、重要文化財・登録有形文化財(建造物)・登録記念物・史跡・名勝・重要文化的景観(1点)	
	29	景観まちづくりへの積極度	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)国土交通省「景観法の施行状況」に掲載されている、対象都市の「景観計画策定」の有無および「景観まちづくり刷新モデル地区」の指定有無(有りにつき1点)、(2)『都市景観の日』実行委員会による、「都市景観大賞 都市空間部門」、「景観まちづくり活動・教育部門」および『景観づくり活動部門』の各賞を受賞した地区または活動数、「都市景観大賞 美しいまちなみ賞」の各賞を受賞した地区数、「都市景観100選」を受賞した受賞者数(1つにつき1点)。県が受賞したものは対象外とする。	
	30	イベントの数・評価	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)「トリップアドバイザー日本」の「観光」における「イベント」の数、(2)公益財団法人日本観光振興協会「miru-navi 全国観るなび」記載の「全てのイベント(全国のイベント一覧)」に記載の「郷土芸能」「行・祭事」に分類されるイベントの数。	
	31	クリエイティブ産業従業者割合	国際連合開発計画(UNDP)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)、および東京都産業労働局の報告書をもとに、独自に「クリエイティブ産業」を定義し、総務省統計局「経済センサス-活動調査結果」より相当する産業小分類37を抽出した。同調査「事業所に関する集計」に掲載されている当該37小分類の従業者数の合計を、同調査の「従業者数」(A~R全産業(S公務を除く))で除した算出した割合。	
ソフト資源	32	文化・歴史・伝統への接触機会	居住者アンケート「現在お住まいの都市は他の都市から訪れた人にとって、魅力的な文化(歴史、伝統、芸術、風習等)に接する機会が多いと思いますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。	
	33	宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設の総客室数。	
	34	高級宿泊施設客室数	株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設のうち「ハイクラス」に区分される宿泊施設の客室総数。	
	35	イベントホール座席数	次の2つの数値にもとづいてスコアを計算した:(1)公益社団法人全国公立文化施設協会の「全国劇場・音楽堂等総合調査サイト」に掲載されている公立文化施設の座席数を指数化した値、(2)株式会社アイデアログの「会場ベストサーチ」に掲載されているホテルの宴会場の収容人数、もしくは株式会社リクルートの「じゃらん web サービス」に掲載されている宿泊施設の宴会場を有するホテルの客室数から推計した収容人数のどちらか大きい値。	
文化・交流	36	観光案内所・病院の多言語対応	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)日本政府観光局(JNTO)「JNTO認定外国人観光案内所」に掲載されている観光案内所数、その観光案内所の提供するサービス内容によって区分されたカテゴリーで重みづけをした値、(2)日本政府観光局(JNTO)「外国人旅行者の受入が可能な医療機関」に掲載されている医療機関数。	
	37	休日の人の多さ	経済産業省・内閣官房「RESAS(地域経済分析システム)」における「休日滞在人口(2019年14時時点、15歳以上80歳未満人口の12カ月平均値)」(出典:株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計@」)から夜間人口を引き、昼間人口で除した値。	
	38	行楽・観光目的の訪問の多さ	株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」における「訪問経験Q9(行楽・観光のため)」の値。	
	39	国際会議・展示会開催件数	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)日本政府観光局(JNTO)「国際会議統計」に掲載されている「国際会議開催件数」を指数化した値(東京23区の「国際会議開催件数」は一部の国際会議のみ開催場所の記載があるため、それをもとに区別に開催件数を推計した。)、(2)株式会社ピーオービー「展示会データベース」に掲載されている「展示会開催件数」を指数化した値。	
発信実績	40	観光客誘致活動	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)国土交通省観光庁「日本版DMO及び日本版DMO候補法人の登録一覧」に掲載されているDMOについて、市区町村単位の地域DMOを1法人につき1点、広域連携DMOと地域連携DMOを1法人につき0.5点として、法人数に重みづけして指数化した値(東京については、森記念財団の独自調査により法人を追加)、(2)ツーリズムEXPOジャパンのウェブサイトに掲載されている過去5年の民間を除く出展団体について、市町村単位の団体を1法人につき1点(単体ではない出展も含む)、広域、都道府県レベルの団体を1法人につき0.5点として、団体数に重みづけして指数化した値。	
	41	自治体SNSフォロワー数	Facebook、Twitter、Youtubeにおける、自治体もしくは観光協会発信の公式アカウントやチャンネル(災害情報や選挙関連情報のみ発信しているものは対象外)の数が大きい方のフォロワー数をソーシャルメディア(SNS)ごとに指数化し、合算した値。	
	42	魅力度・認知度・観光意欲度	株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査」における「魅力度」、「認知度」、「観光意欲度」の3つの点数を合算した値。	

指標の定義

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
安全・安心		43	刑法犯認知件数の少なさ	警視庁または、各都道府県の警察署が公表する刑法認知件数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		44	交通事故死亡者数の少なさ	公益財団法人交通事故総合分析センター「イタルダ インフォメーション」に掲載されている過去3か年の「全国市区町村別 交通事故死者数」の平均値を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		45	災害時の安全性	次の5つの数値に基づいてスコアを算出した: 1) 総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」に掲載されている、「1980年以前建築の住宅戸数」を総戸数で除した値、2) 同調査の「総戸数に占める避難場所が1km以上離れている戸数」を総戸数で除した値、3) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」に掲載されている「浸水想定区域面積」を総面積で除した値、4) 国土交通省国土政策局「国土数値情報」掲載の「土砂災害危険箇所データ」および「土砂災害警戒区域データ」における対象面積の合計値を総面積で除した値、5) 総務省統計局「統計でみる市区町村のすがた」に掲載されている「建物火災出火件数」を昼間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		46	空家率の低さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査」における「居住世帯の有無(8区分)別住宅数及び住宅以外で人が居住する建物数一市区町村」に掲載されている「居住世帯なし」の「空き家」のうち「その他住宅」に区分されている住宅数を、同調査の住宅総数で除して算出した値。
健康・医療		47	医師の多さ	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」における「医療施設従事医師数、主たる診療科・従業地による二次医療圏・市区町村別」に掲載されている「医療施設従事医師数」の総数を昼間人口(千人あたり)で除して算出した値。
		48	病院・診療所・病床の多さ	次の3つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 厚生労働省「医療施設(動態)調査」における施設総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、(2) 同調査における一般診療所総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値、および(3) 同調査における病床数-総数を昼間人口(百万人あたり)で除して指数化した値。
		49	平均寿命・健康寿命	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 厚生労働省「市区町村別生命表の概況 統計表1」の市区町村別平均寿命、(2) 浜松医科大学「都道府県別健康寿命」。(2)は都道府県データのため、(1)の半分の重みづけをした。
生活・居住	育児・教育	50	合計特殊出生率	厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」に掲載されている合計特殊出生率(ベイズ推定値)。
		51	保育ニーズの充足度	厚生労働省「各市区町村における待機児童解消に向けた取組状況の『見える化』について」に掲載されている、0歳児、1・2歳児の申込者数(保育ニーズ)を定員数(整備量)で除した値。
		52	子どもの医療費支援	厚生労働省「乳幼児等に係る医療費の援助についての調査」の「別紙3 市区町村における乳幼児等医療費援助の実施状況」に掲載されている医療費援助(通院)および(入院)の対象年齢に応じた点数(就学前1点、7~9歳年度末2点、12歳年度末3点、15歳年度末4点、18歳年度末5点)、および所得制限と一部自己負担の有無(無しにつき1点、通院・入院どちらか無しの場合は0.5点)の合計点。
		53	教育機会の多様性	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した: (1) 学びリンク編集部「全国フリースクールガイド小中高・不登校生の居場所探し」に掲載されているフリースクール数を指数化した値、(2) 代表的な高校偏差値情報サイトに掲載されている偏差値65以上の高校数を指数化した値。
市民生活・福祉		54	外国人住民の受入体制	日本経済新聞が2019年2月12日に掲載した外国人住民の受け入れ体制に関する調査結果(記事見出し「外国人政策、自治体格差広がる恐れ」)を用いて、指数化した値。同調査は、日本経済新聞が主要自治体の外国人住民の受け入れに関する主な13項目の取り組み状況を調べたもので、各項目を4カテゴリー(○:すでに実施、△:実施を検討、×:実施していない、-:未回答)に区分している。森記念財団で4カテゴリーを点数化した(「すでに実施」を1点、「実施を検討」を0.5点、「実施していない」や「未回答」を0点。)、その点数を合算した値。掲載のない都市は各自治体に問い合わせた。
		55	要支援・要介護高齢者の少なさ	厚生労働省「介護保険事業状況報告(暫定)」における65歳以上の「要介護(要支援)認定者数」を、同報告に記載されている第1号被保険者数(65歳以上人口)で除した値。佐賀市・熊谷市は自治体発表のデータを用い、豊橋市、豊川市、鈴鹿市は推計を行った。
		56	日常生活自立支援事業利用者数の多さ	日常生活自立支援事業の実利用者数を夜間人口(万人あたり)で除した値。
		57	電子自治体推進度	総務省「地方自治情報管理概要(地方公共団体における行政情報化の推進状況調査結果)」の第3表「行政手続のオンライン化の推進状況」のうち、オンライン利用の促進等に向けて講じた措置や、住民サービス向上への取組状況などの項目をカウントした。
居住環境		58 Q	居住環境の満足度	居住者アンケート「自宅周辺の居住環境(防災性、防犯性、利便性など総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		59	新規住宅供給の多さ	国土交通省「住宅着工統計報告」における「第15表 着工住宅: 都道府県別、工事別、利用関係別(戸数・件数、床面積の合計)」に掲載されている「新設」の「床面積の合計(㎡)」の過去3年平均を、夜間人口(万人あたり)で除して算出した値。
		60	住宅の広さ	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」における1住宅あたり延べ面積。
		61	住宅のバリアフリー化率	総務省統計局「住宅・土地統計調査結果」の「バリアフリー化住宅に居住する65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」を、「65歳以上の世帯員のいる主世帯総数」で除して算出した値。
生活利便施設		62	小売事業所密度	総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「各種商品小売業」、「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料点小売業」、「機械器具小売業」および「その他の小売業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
		63	飲食店舗密度	総務省統計局「経済センサス-基礎調査結果」における「飲食店」および「持ち帰り・配達飲食サービス業」の事業所数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
		64	コンビニ密度	代表的なインターネット電話帳に掲載されているコンビニ数を市街化区域(用途地域面積を用いる)で除して算出した値。
生活の余裕度		65	可処分所得	総務省統計局「全国家計構造調査」に掲載されている、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1か月間の「可処分所得額」(実収入から非消費支出を引いた額)。東京23区については総務省統計局「社会・人口統計体系 市区町村データ 基礎データ」の「課税対象所得」および「世帯数」を用いて推計を行った。
		66	物価水準の低さ	総務省統計局「小売物価統計調査(構造編)」に掲載されている、第1表「10大費目別消費者物価地域差指数(全国平均=100)」の、「総合」より算出した値。なお、県庁所在地および政令指定都市以外の都市はデータが掲載されていないため、都道府県の値を代用した。
		67	住宅コストの低さ	総務省統計局「全国家計構造調査」の都道府県別 家計収支に関する結果に掲載されている「住居費」と「持ち家(現住居)の帰属家賃」の合計値。東京23区については、以下の2つのデータをもとに推計した: (1) 同調査の横浜市の値および東京都特別区部の平均値、(2) 代表的な賃貸不動産サイトにおける、各区および横浜市の住宅賃料相場(2LDK程度)。

分野	指標グループ	No.	指標名	定義
環境	環境パフォーマンス	68	リサイクル率	環境省「一般廃棄物処理実態調査」の「市町村集計結果(ごみ処理状況)」に掲載されているリサイクル率(リサイクル率 R')。東京23区については「東京都23区分」の値。
		69	昼間人口あたりCO ₂ 排出量の少なさ	環境省「地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」で公表されている各市区町村のCO ₂ 排出量合計値を、総務省統計局「国勢調査結果」に基づく各市区町村の昼間人口で除した人口1人あたりのCO ₂ 排出量。
		70	再生可能エネルギー自給率	千葉大学倉阪研究室+認定NPO法人環境エネルギー政策研究所提供の「永続地帯報告書」の地域的エネルギー自給率(電力+熱)の値。地域的エネルギー自給率とは、地域的エネルギー需要(民生用+農林水産業用エネルギー需要)に占める再生可能エネルギー供給量の比率。再生可能エネルギーは、太陽光発電、風力発電、地熱発電、小水力発電、バイオマス発電、太陽熱、地熱、バイオマス熱を含む。
	自然環境	71 Q	自然環境の満足度	居住者アンケート「自然環境(山や森、海や川、緑豊かな公園や街路樹など)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。
		72	都市地域緑地率	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「都市地域土地利用細分メッシュ」を用いて、田、その他の農用地、森林、荒地、公園・緑地、ゴルフ場の面積を抽出し、都市地域総面積で除して算出した値。「都市地域」とは、国土を都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域、自然保全地域の5地域に分類したときの「都市地域」を指し、都市計画法第5条により都市計画区域として指定されている又は指定されることが予定されている地域を指す。
		73	水辺の充実度	株式会社東京地図研究社のオリジナル地図データ「MapPackage」を用いて、行政区域総面積における水辺面積を推計し、これを行政区域総面積で除して算出した値。水辺面積の推計は以下のルールにもとづいて行った。(1)面データがある水域(主に海)においては、陸域から100m圏内の水面の面積を算出した。(2)線データしかない水域(主に川)においては、陸域から100m圏内の水域の線データの長さを算出し、水域の幅を10mと設定し、算出した長さに乗じた。(利用した「MapPackage」での水域の取得基準により、水域の数値が0となっている場合がある)
	快適性	74	年間日照時間	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「平年値(気候)メッシュ」における年合計日照時間。
75		気温・湿度が快適な日数	気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」に掲載されている、各都市が属する都道府県の管区気象台、地方気象台、特別地域気象観測所の各観測地点のうち、市(区)役所所在地最寄りの地点の1年間の不快指数が60以上75以下の日数をカウント。不快指数は、日平均気温および日平均湿度を用いて、以下の計算方法で算出した。不快指数(DI)=0.81T+0.01H×(0.99T-14.3)+46.3 (Tは気温℃、Hは湿度%)	
76		空気のきれいさ	国立環境研究所「大気環境月間値・年間値データ」における「窒素酸化物(NOx)」の濃度と「微小粒子状物質(PM2.5)」の濃度において、全測定局の年間平均値をそれぞれ指数化し、合算した値。	
77 Q		街路の清潔さ	居住者アンケート「他の都市と比べて、現在お住まいの都市の屋外空間、街路等は清潔に(街路上にゴミが落ちていない等)保たれていますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。	
都市内交通	78 Q	公共交通の利便性	居住者アンケート「公共交通(鉄道やバスなどの運行本数、施設・設備、サービスなど総合的に)にどれほど満足していますか?」の問いに対する回答をもとに算出した値。	
	79	鉄道駅・バス停密度	国土交通省国土政策局「国土数値情報」における「鉄道駅データ」と「バス停留所データ」に掲載されている鉄道駅数とバス停留所数を、都市計画区域面積からそれぞれ密度を算出し、指数化した値を合算した。	
	80	交通渋滞の少なさ	国土交通省「全国道路・街路交通情勢調査」に掲載されている旅行速度整理表(都道府県別道路種別)より、自動車専用道路以外の昼間12時間平均旅行速度(時間帯別交通量加重)の上り・下りを平均した値。	
交通・アクセス	81	空港アクセス時間の短さ	対象都市における市区役所から2時間以内で到達可能な空港(対象空港)までの平均所要時間。平均所要時間の算出にあたっては次の2つの数値にもとづいて算出した:(1)Googleマップで算出される各市区役所から対象空港までの最短アクセス時間(平日朝10時到着、自動車による移動)、(2)国土交通省東京航空局および大阪航空局の「管内空港の利用概況集計表」より集計した空港別の年間旅客数(国内線・国際線合計)	
	82	新幹線の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)新幹線の停車駅がある都市は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「駅別乗降客数データ」から取得した新幹線(山形新幹線・秋田新幹線を含む)停車駅の乗降客数(新幹線・在来線の合算値)。新幹線の停車駅がない都市は、都市内の中心駅(最も乗降客数が多い駅)から最も近い新幹線の停車駅の乗降客数。乗降客数が記載されていない駅については、個別にデータを収集した。(2)新幹線の停車駅がない都市は、都市内の中心駅(最も乗降客数が多い駅)から新幹線駅までの移動時間(平日朝10時到着、鉄道による移動)。新幹線の停車駅がある都市は、移動時間を0とした。なお、始発でも新幹線の停車駅に朝10時までに到達が不可能な場合は、スコア0とした。	
	83	インターチェンジ数	国土交通省国土政策局「国土数値情報」の「高速道路時系列データ」における「一般インターチェンジ」および「スマートインターチェンジ」の数。	
移動の容易性	84	都市のコンパクトさ	総務省統計局「国勢調査」における人口等基本集計(男女・年齢・配偶関係、世帯の構成、住居の状態など)に掲載されている、人口集中地区の人口を夜間人口で除して算出した割合。なお、人口集中地区とは「(1)原則として人口密度が1平方キロメートルあたり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、(2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域」。	
	85	通勤時間の短さ	総務省「住宅・土地統計調査」における家計を主に支える者の通勤時間の中位数。	
	86 Q	自転車の利用のしやすさ	次の2つの数値にもとづいてスコアを算出した:(1)RYDE株式会社「RYDE CYCLE」、およびナビタイムジャパン「全国のシェアサイクル」の登録数が多い方のシェアサイクルポート数、(2)居住者アンケート「新型コロナウイルス感染症流行後の、主たる通勤や通学に用いている移動手段を選択してください。」の問いに対する選択肢(徒歩、自転車、バイク、車、バス・路面電車、電車・地下鉄)のうち自転車の占める割合。	

指標の定義

Q: 居住者アンケート結果を用いている指標



日本の都市特性評価

Japan Power Cities — Profiling Urban Attractiveness

2021年8月

編集・発行

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

装丁・印刷：光村印刷株式会社

調査に関するお問い合わせ

iusall@mori-m-foundation.or.jp

一般財団法人 森記念財団 都市戦略研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37 森ビル

TEL : 03-6406-6800

www.mori-m-foundation.or.jp

© 2021 The Mori Memorial Foundation

このパンフレットを許可なく複製・頒布することを禁じます。

J a p a n

P o w e r

C i t i e s

Profiling Urban Attractiveness